

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成24年5月発行

第119号

## 発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

## 発行人

木村 佐多子

## CONTENTS

- 通常総会開催に向けて ..... 2
- 平成 24 年度 通常総会プログラム
  - 理事会報告 ..... 3
  - 平成 24 年度重点事業並びに事業計画 ..... 4
  - 平成 24 年度収支予算 ..... 6
  - 職能委員会報告 ..... 8
  - 常任委員会報告 ..... 10
  - 特別委員会報告 ..... 11
  - その他委員会報告 ..... 14
  - 地区支部報告 ..... 15
- 保健師のコーナー ..... 19
- 助産師のコーナー ..... 19
- 看護師のコーナー ..... 19
- 専門看護師のコーナー(トピックス 2012) ... 20
- 地域連携のコーナー ..... 20
- 医療安全数珠つなぎ ..... 21
- 私の〇〇 ..... 21
- リレーエッセイ 友達の輪 ..... 21
- My Hospital ..... 22
- 高機能患者シミュレータを使用した  
研修を実施して ..... 22
- 和歌山県看護研究学会報告 ..... 22
- 知って得する看護協会だより ..... 23
- プレゼント ..... 23
- 和歌山県看護協会の動き ..... 24
- 台風 12 号災害義援金 ～お礼とご報告～ ..... 24
- 第 2 回「ワークライフ・バランス」  
地域推進連絡協議会に参加 ..... 24
- 看護研修センター建設推進委員会報告 ..... 24



写真撮影：広報委員

## 和歌山県看護協会 会員数

会員総数 5,184 名

平成 24 年 5 月 31 日現在

|      |         |
|------|---------|
| 名誉会員 | 2 名     |
| 保健師  | 119 名   |
| 助産師  | 186 名   |
| 看護師  | 4,548 名 |
| 准看護師 | 329 名   |

## 平成 24 年度通常総会開催に向けて

# 公益社団法人として新たな出発

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子



木々の若葉が一斉に芽吹き新緑が目にも眩しい季節となりました。

平成 23 年度事業は皆様のご支援のもと無事終了致しました。改めまして心よりお礼申し上げます。

昨年は未曾有の東日本大震災による津波と原発事故、紀伊半島大水害と多くの尊い命や住まいが失われ、今尚、不自由な生活を強いられている方が多くいらっしゃいます。復興途上の皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、災害支援活動や義援金にご協力下さった会員の皆様に深く感謝申し上げます。尚、紀伊半島大水害における義援金使途については、この黒潮に掲載しております。

さて、和歌山県看護協会は、4月1日より、「公益社団法人」として新たな一歩を踏み出しました。公益法人化への取り組みは、平成 22 年度からプロジェクトチーム中心に取り組んで参りましたが、日本看護協会、理事会、事務局、関係各位のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後より一層、公益社団法人として公益活動を推進し、県民や看護職の皆様から信頼頂ける職能団体を目指して会員の皆様方と共に頑張っております。

公益法人移行後は、事業実施報告、重点事業及び事業計画、収支予算は理事会での決議事項となり理事会の関与が大きくなります。総会では、これらは報告という形になり、総会での決議事項は、決算・監査報告、定款の変更、会費等の額、理事及び監事の選任または解任、理事及び監事の報酬等の額等に絞られます。職能委員も理事会での選任となります。

公益社団法人として、看護職が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図ると共に安心して働き続けられる環境づくりを推進し、県民の健康な生活の実現に寄与するために、平成 24 年度は新定款 4 条に基づき 7 つの重点事業を設定しました。看護職の能力開発、看護職確保定着推進、在宅ケアの質向上、保健師・助産師の活動基盤強化、災害時の看護支援対策の充実、地域住民の健康・福祉を守る活

動推進を重点事業として事業を展開して参ります。

近年、超高齢社会が急速に進展する中、医療提供の場は多様化し看護に関わる全分野で役割と責任が拡大しています。その一方で、看護職の人材不足は深刻です。平成 24 年度も引き続きワーク・ライフ・バランス推進事業、新人他施設合同研修、新人看護職員教育担当者・新人看護職員実地指導者研修、並びに潜在看護職復職等支援事業と看護職確保推進と共にいきいきと働き続けられる職場づくりの支援に努めて参ります。

教育事業では、昨年の事業に加えて、看護教員養成講習会（8ヶ月）の開催、また好評頂いている昨年度からの地域医療再生基金補助金事業による「新人高機能シミュレーション研修」も継続し、看護の質向上、医療安全の確保、早期離職防止の支援に努めます。また、在宅ケア推進に関しては、例年、重点課題として取り組んでいますが、今年度から、看護師職能委員会をⅠ（病院領域）、Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）と、各々に委員長を配して、看護師職能委員会Ⅱ中心に在宅看護推進委員会とも連携しながら更に充実して参ります。

新看護研修センター建設に関しましては、昨年度総会でご承認頂いたトランスコスモス研修施設取得について、2月に相手側から白紙撤回の要請があり、大変残念な結果となってしまいました。今後の方針につきましては委員会や理事会で検討を進め、総会で諮らせて頂くことになります。

組織拡大に関しては、皆様のご協力のもと 23 年度末の会員数は 5,359 人で昨年同月比 121 人増となりました。引き続きのご協力宜しくお願い致します。

今後も、公益社団法人看護職能団体として、各理事や各委員会、各地区支部のご協力を頂きながら、役職員一同心を一つにして取り組んで参ります。尚、今年度の通常総会は、6月23日（土）、県立医科大学講堂で開催致します。多くの会員の皆様のご参集のもと、活発で建設的なご意見を頂けるよう宜しくお願い申し上げますと共に、これからも一層のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 平成 24 年度 和歌山県看護協会

● 日程：平成 24 年 6 月 23 日（土）

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| 12:20 | 開 場             |
| 12:50 | オリエンテーション       |
| 13:00 | 開 会             |
|       | 物故会員への黙祷        |
|       | 会長挨拶            |
|       | 来賓祝辞            |
|       | 祝電披露            |
|       | 和歌山県看護協会会長表彰    |
|       | (休 憩)           |
| 13:50 | 議長団選出           |
|       | 議事録署名人選出        |
|       | 平成 23 年度総会議事録朗読 |
| 14:00 | 報告事項            |
|       | 日本看護協会代議員報告     |
|       | 理事会報告           |

## 通常総会プログラム

● 場 所：和歌山県立医科大学 講堂

- |       |                      |
|-------|----------------------|
|       | 職能委員会報告              |
|       | 常任委員会・特別委員会・その他委員会報告 |
|       | 地区支部報告               |
|       | 平成 23 年度事業報告         |
|       | 平成 24 年度重点事業並びに事業計画  |
|       | 平成 24 年度収支予算         |
|       | 議決事項                 |
|       | (第一号議案～第五号議案)        |
| 16:10 | 新役員紹介                |
|       | 旧役員への謝辞              |
|       | 旧役員代表者挨拶             |
|       | 綱領宣言                 |
|       | 看護協会歌合唱              |
| 16:30 | 閉 会                  |

\* 進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。



#### 第4回理事会 平成23年8月19日(金)

##### 【協議事項】

1. 公益法人移行に関する和歌山県看護協会諸規定について
  2. 日本看護協会理事会からの課題について
    - ①特定看護師について ②准看護師制度について
    - ③ナースセンター事業について
  3. 各表彰者推薦について
    - ①県ナース賞候補者 ②医療功労賞
    - ③ヘルシー・ソサエティ賞
- 以上承認される

##### 【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
  - ①理事会 ②法人会員 ③職能委員長会議
  - ④拡大医療安全推進会議 ⑤教育担当者会議
  - ⑥災害看護担当者会議 ⑦近畿地区看護研究学会担当者会議
2. 事業進捗状況 ①各委員会 ②県受託事業
3. その他 ①県内関連団体会議参加報告 ②会員数について

#### 第5回理事会 平成23年10月7日(金)

##### 【協議事項】

1. 日本看護協会理事会からの課題について
    - 1)「看護師等の雇用の質の向上に関する省内プロジェクトチーム報告」を受けての取り組み
    - 2)今後のナースセンター事業について
    - 3)特定看護師(仮称)の法制化・制度化の推進
    - 4)介護職員の疲の吸引に関する制度について
    - 5)看護政策について
    - 6)准看護師制度について
  2. 平成24年度和歌山県看護協会事業への要望、意見について
  3. その他…事務局人事について
- 以上承認される

##### 【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
  - ①理事会 ②会員管理担当者会議
  - ③日本看護学会運営会議
2. 事業進捗状況 ①各委員会 ②県受託事業
3. 公益法人移行に関すること(進捗状況)
4. 県内関連団体会議参加報告その他
5. その他 ①会員数について

#### 第6回理事会 平成23年12月2日(金)

##### 【協議事項】

1. 平成24年度事業計画に向けての提案・要望について
  2. 再入会金について
  3. 災害支援ナース登録申請について
  4. 平成25年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について
  5. 紀伊半島大水害における義援金とその配分について
- 以上承認される

##### 【報告事項】

1. 日本看護協会等関連会議報告
  - ①日本看護協会理事会・法人会員報告
  - ②地区別職能委員長会 ③社会経済福祉担当者会議
2. 事業進捗状況
  - ①各委員会 ②県委託事業 ③公益法人移行取り組み進捗状況
  - ④看護研修センター建設推進について ⑤監査報告
3. その他
  - ①会員数について ②県内関連団体会議参加報告
  - ③県ナース章受賞者について

#### 第7回理事会 平成24年3月9日(金)

##### 【協議事項】

1. 平成24年度事業計画について
    - ①重点事業及び事業計画 ②教育計画
  2. 平成23年度一般会計予算について
  3. 平成25年度代議員・予備代議員の選出について
  4. 細則の変更について(再入会金、入会金について)
  5. 新看護研修センター建築推進に関して
  6. 平成24年度各委員会諮問事項
  7. 台風12号への支援金使途について
  8. 和歌山県看護協会長表彰について
- 以上承認される

##### 【報告事項】

1. 日本看護協会関連会議報告
  - ①平成23年度第7回理事会
  - ②平成23年度第2回全国職能委員長会
2. 公益法人移行について
3. 23年度事業経過報告
4. 各委員会報告

## 平成24年度重点事業並びに事業計画

### 重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる職場環境づくりと確保定着の推進
  - ①ワーク・ライフ・バランスの推進
  - ②新人看護職員卒後研修事業の推進及び充実
  - ③潜在看護職復職等支援事業
3. 療養を支える訪問看護サービスの推進及び介護領域における看護機能の強化
4. 効果的な保健師活動推進のための活動基盤強化
5. 助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備
6. 災害時の看護支援対策の充実
7. 県民の健康と福祉を守る活動の推進

### I 看護教育委及び学会等学術振興に関する事業

| 事業                                                     | 内容                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 継続教育に関する事業<br>1) 教育計画の企画・実施<br>(1) 平成24年度教育計画の実施・評価 | 教育計画参照 HPにも掲載<br>教育委員会 年12回<br>①新人教育 6コース<br>②看護実践能力開発のための教育 29コース<br>(内 衛星通信 4コース)<br>③管理者のための教育 8コース<br>(内衛星通信 1コース)               |
| (2) 平成25年度教育計画の企画・広報                                   | ①企画のための教育ニーズの把握と情報収集                                                                                                                 |
| 2) 認定看護管理者教育<br>(1) 認定看護管理者教育制度における教育                  | 認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回<br>①ファーストレベル教育課程<br>(150時間 定員40名)<br>②セカンドレベル教育課程<br>(180時間 定員30名)<br>ファーストレベル研修実行委員会 年4回<br>セカンドレベル研修実行委員会 年7回 |

| 事業                                     | 内容                                                                     |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 3) 和歌山県からの委託事業<br>(1) 看護職の専門性の向上       | ①中堅看護職員実務研修(9日間)<br>②新人看護職員教育担当者研修(3日間)(新規)<br>③新人看護職員実地指導者研修(5日間)(新規) |
| (2) 新人看護職員の臨床研修                        | ①新人看護職員合同研修(多施設合同)(新規)<br>②高機能シミュレーション研修                               |
| (3) 看護教員養成講習会(新規)                      | ・定員25名 4月16日 開講(8カ月)                                                   |
| 2. 看護研究の推進事業<br>1) 近畿地区看護研究学会開催        | ・平成24年12月7日(金)開催予定(定員650名)<br>於：市民会館                                   |
| 2) 平成25年度日本看護学会学術集会<br>成人看護Ⅰ 開催の準備(新規) | ・平成25年10月24(木)・25日(金)<br>【成人看護】開催委員会の設置と運営(年6回)                        |
| 3) 図書・雑誌等の購入                           | ①図書・雑誌等の購入<br>②図書利用の推進(新刊の案内等)                                         |
| 3. 地区支部研修                              | ・8地区支部で実施                                                              |

## Ⅱ 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

| 事業                                | 内容                                                                                                          |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 労働環境等の改善のための事業<br>1) ナースセンター事業 | ①ナースバンク事業、ナースセンター便り(年4回)<br>②ナースセンター事業運営委員会<br>③就労環境改善事業                                                    |
| (1) 就業促進事業                        |                                                                                                             |
| (2) 多様な勤務形態導入研修事業                 | ①WLB推進ワークショップ(公開講座) 8/27・28<br>②フォローアップワークショップ(公開講座) H.25.1/23<br>③アドバイザー派遣 2施設<br>④WLB推進委員会2回、参加施設との合同会議4回 |
| (3) 離職防止対策事業                      | ①ナース相談窓口<br>②リフレッシュ研修(新卒者・中堅看護職員)                                                                           |
| (4) 「看護の心」普及啓発                    | ①1日看護体験<br>②出前講座(モデル中学校へのアプローチ)(新規)                                                                         |
| (5) 潜在看護職員の復職等支援事業                | ①潜在看護職員登録システムの構築<br>②再就業希望看護職員に対する臨床実務研修(10日間)                                                              |
| (6) 看護職の健康増進                      | ①看護職のメンタルサポート<br>②看護職の喫煙問題に関すること                                                                            |
| 2. 災害時の看護支援活動<br>1) 災害支援ナースの育成    | ・災害看護対策委員会 年6回<br>①災害医療と看護～基礎編～(衛星放送受信)<br>②災害看護Ⅱ<br>③災害支援ナースフォローアップ研修                                      |
| 2) 災害支援ナースの登録及び派遣ネットワークシステムの構築    | ①災害支援ナース登録への取り組み<br>②日本看護協会との合同防災訓練<br>③県防災訓練への参加<br>④近畿地区看護協会災害支援ネットワークの構築<br>⑤派遣に関する傷害保険の加入<br>⑥衛星電話の購入   |
| 3) 県行政との連携                        | ①県行政との協定の推進<br>②和歌山県災害医療対策会議への参画                                                                            |
| 3. 看護職の処遇改善の推進                    | ①看護師等の「雇用の質」の向上のための取り組みに係る企画委員会への参画                                                                         |
| 4. 政策への参加                         | ①行政機関の委員および協議会等の参画<br>②行政への要望・意見交換                                                                          |

## Ⅲ 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業

| 事業                                                                  | 内容                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 効果的な保健師活動推進のための活動<br>基盤強化<br>1) 保健師職能委員会活動                       | ・委員会 年6回<br>①職能集会 平成24年9月8日(土)<br>講演「地域の中で活きる保健師活動」<br>講師：鹿児島県肝属郡肝付町福祉課 保健師 能勢佳子<br>②「保健師職能だより」発行(年3回)<br>③災害支援マニュアルの再検討<br>①「保健指導ミーティング事業」12/1(土)予定<br>(日本看護協会助成申請事業)                |
| 2) 保健師の人材育成                                                         |                                                                                                                                                                                       |
| 2. 助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠出産・育児環境の整備<br>1) 助産師の専門性を発揮するために助産師外来の推進を図る | ・委員会 年6回<br>①職能集会 平成24年9月8日(土)<br>テーマ「助産師を取り巻く現状と課題」<br>講師：日本看護協会常任理事 福井トシ子                                                                                                           |
| 2) 助産師機能として思春期教育出前事業、地域に根ざした活動を展開する                                 | ①思春期教育(性教育)の出前教室(中学校等)<br>②産科領域における災害マニュアルの検討                                                                                                                                         |
| 3) 助産実践能力向上のために、キャリアアップ研修を開催する<br>(1) 研修会の実施(2回)                    | ①平成24年7月14日(土) 13:30～15:30<br>テーマ「胎児心拍モニタリングの判読について」<br>②平成25年1月19日(土) 13:30～15:30<br>テーマ「フリースタイル分娩助産」<br>於：社会保険紀南病院<br>③近畿ブロック助産師研修会 10月27日(土)<br>於：大阪府看護協会<br>テーマ「周産期の災害シンポジウム」(仮題) |
| (2) 助産師キャリアパスの作成                                                    |                                                                                                                                                                                       |
| 3. 看護専門職としての能力開発<br>1) 看護師職能委員会活動(Ⅰ・Ⅱ)                              | ・各委員会 年6回<br>①職能集会 平成24年9月8日(土)<br>テーマ「病院から地域へつなぐ看護を考える」<br>②黒潮に「看護師職能だより」掲載<br>③准看護師交流会(研修会・意見交換等)<br>④出前講座(モデル中学校へのアプローチ)                                                           |
| 2) 看護師職能委員会活動(Ⅰ)<br>(1) 看護の質向上                                      | ①専門看護師・認定看護師活動への支援<br>・専門看護師・認定看護師研修会 10月6日(土)<br>講演「看護師特定能力認証制度について」<br>講師：日本看護協会常任理事 洪 愛子                                                                                           |
| (2) 働き続けられる職場づくり                                                    | ①夜勤交替制勤務に関する実態調査                                                                                                                                                                      |

|                                               |                                                                  |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 3) 看護師職能委員会活動(Ⅱ)<br>(1) 介護・福祉関係施設に働く看護職の資質の向上 | ①アンケート調査の結果を分析・活用<br>②研修会の実施及びネットワークづくり<br>③系統的な研修プログラムの作成と活用の推進 |
| 4. 認定看護管理者活動への支援                              | ・認定看護管理者会 年4回                                                    |
| 5. 医療安全に関する事業<br>1) 医療安全管理者研修の実施              | ・医療安全対策委員会 年6回<br>・医療安全管理者養成研修(定員50名7日間)                         |
| 2) 医療安全管理者研修修了者の支援・連携                         | ・県内リスキーマネジャーのネットワークの構築                                           |
| 3) 医療安全に関する相談対応・情報提供                          | ①「医療安全数珠つなぎ」の「黒潮」掲載<br>②HPに情報提供<br>③看護職賠償責任保険の普及                 |

## Ⅳ 地域ケアサービスの推進に関する事業

| 事業                             | 内容                                                            |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 1. 県民の健康づくり<br>1) 「まちの保健室」事業   | ①まちの保健室                                                       |
| 2) 看護週間事業                      | ①ふれあい看護体験事業<br>②一日まちの保健室(8地区支部で実施)                            |
| 3) 老人看護月間行事                    | ①まちの保健室(8地区支部で実施)<br>②出前健康チェック                                |
| 4) 訪問看護推進事業                    | ①訪問看護推進協議会開催 1回<br>②相互研修 医療機関で働く看護師研修(3日間)<br>③訪問看護管理者研修(3日間) |
| 【県受託】<br>5) 和歌山県自殺対策緊急強化基金事業   | ①「講演」の開催(県民・医療職対象) 於：和歌山<br>②まちの保健室で「こころの健康チェック」を実施           |
| 6) 介護職員等によるたん吸引等実施のための研修事業(新規) | ①吸引等の研修(介護職員対象)<br>講義・演習：9時間、実技                               |

## Ⅴ 日本看護協会との協力及び連携に関する事業

| 事業                              | 内容                                                                                         |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 日本看護協会との連携<br>1) 日本看護協会主催の会議 | ①通常総会(6/5・6・7)<br>②全国職能委員長会(8/3・H.25 3/14)<br>③理事会(6回)<br>④地区別法人委員会・都道府県職能委員長会(10/31・11/1) |
| 2) 日本看護協会との協働事業                 | ⑤各担当会議<br>・保健師の活動推進と政策提言事業                                                                 |

## Ⅵ その他本会の目的達成のために必要な事業

| 事業                            | 内容                                                                                                                                                 |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 組織強化に関する事項<br>1) 会員数の増加・拡大 | ①入会案内等のパンフレット作成(公益社団法人)<br>②ホームページの充実と更新及び活用の推進<br>③新入会員オリエンテーション 7/11(水)<br>④各看護学校各行事への参加<br>(入学・卒業式、宣誓式等)                                        |
| 2) 地区支部との連携及び支援               | ①施設会員代表者会議 年2回<br>・講演会・交流会 1回・地区支部単位 1回<br>(8地区支部)                                                                                                 |
| 3) 三職能合同研修会                   | ・平成24年9月8日(土)<br>テーマ：災害への対応<br>～災害発生時における看護職の連携について～<br>基調講演：和歌山県地域防災計画について                                                                        |
| 4) 会員サービスの充実                  | ①ホームページ等での情報提供<br>②会員からの問い合わせ・相談対応<br>③会員の福利厚生(表彰・慶弔見舞、災害見舞等)                                                                                      |
| 5) 新看護研修センター建設に関する検討          | ①建設に関する具体的検討と情報の提供<br>・看護研修センター建設推進委員会 年6回                                                                                                         |
| 2. 円滑な組織運営<br>1) 諸会議の開催       | ①総会 H.24.6.23(県立医科大学講堂)<br>②常務理事会 ③理事会(年6回)<br>④理事・各委員長合同会議(年2回)<br>⑤代議員研修会 5/16(水)<br>⑥監査(年2回)<br>⑦各委員会<br>・各職能委員(委員長)会、常任委員会、特別委員会<br>⑧8地区支部との連携 |
| 2) 公益法人移行後の体制作り               | ①諸規定の見直し及び改訂等<br>②名称変更に伴う印刷物の刷新                                                                                                                    |
| 3) 広報                         | ①和歌山県看護協会会報「黒潮」の発行<br>②ホームページの充実と更新                                                                                                                |
| 4) 事務局運営体制強化及び充実              | ①協会内部の効率的な組織体制の整備                                                                                                                                  |
| 3. 関係団体共同事業参加                 | ①関係機関の委員および協議会への参画<br>②後援・協賛依頼への協力<br>③看護職員の派遣                                                                                                     |

# 資金収支予算書内訳表

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目                | 公益目的<br>事 業 | 収益事業    | 法人会計       | 内部取引<br>消 去 | 合 計         | 科 目                     | 公益目的<br>事 業 | 収益事業    | 法人会計         | 内部取引<br>消 去 | 合 計          |
|--------------------|-------------|---------|------------|-------------|-------------|-------------------------|-------------|---------|--------------|-------------|--------------|
| <b>I 事業活動収支の部</b>  |             |         |            |             |             | 管 理 費 支 出               | 0           | 0       | 46,918,000   | 0           | 46,918,000   |
| 1. 事業活動収入          |             |         |            |             |             | 役 員 報 酬 支 出             | 0           | 0       | 5,500,000    | 0           | 5,500,000    |
| 特 定 資 産 運 用 収 入    | 0           | 0       | 30,000     | 0           | 30,000      | 給 料 手 当 支 出             | 0           | 0       | 12,000,000   | 0           | 12,000,000   |
| 特 定 資 産 利 息 収 入    | 0           | 0       | 30,000     | 0           | 30,000      | 臨 時 雇 賃 金 支 出           | 0           | 0       | 100,000      | 0           | 100,000      |
| 会 費 収 入            | 27,000,000  | 0       | 27,000,000 | 0           | 54,000,000  | 退 職 給 付 費 用 支 出         | 0           | 0       | 857,000      | 0           | 857,000      |
| 会 費 収 入            | 27,000,000  | 0       | 27,000,000 | 0           | 54,000,000  | 法 定 福 利 費 支 出           | 0           | 0       | 2,800,000    | 0           | 2,800,000    |
| 建設資金準備積立金収入        | 0           | 0       | 16,200,000 | 0           | 16,200,000  | 福 利 厚 生 費 支 出           | 0           | 0       | 100,000      | 0           | 100,000      |
| 建設資金準備積立金収入        | 0           | 0       | 16,200,000 | 0           | 16,200,000  | 渉 外 費 支 出               | 0           | 0       | 600,000      | 0           | 600,000      |
| 入 会 金 収 入          | 2,350,000   | 0       | 2,350,000  | 0           | 4,700,000   | 会 議 費 支 出               | 0           | 0       | 200,000      | 0           | 200,000      |
| 入 会 金 収 入          | 2,350,000   | 0       | 2,350,000  | 0           | 4,700,000   | 旅 費 交 通 費 支 出           | 0           | 0       | 500,000      | 0           | 500,000      |
| 事 業 収 入            | 29,514,000  | 510,000 | 1,030,000  | 0           | 31,054,000  | 通 信 運 搬 費 支 出           | 0           | 0       | 700,000      | 0           | 700,000      |
| 受 講 料 収 入          | 29,514,000  | 0       | 0          | 0           | 29,514,000  | 消 耗 什 器 備 品 費 支 出       | 0           | 0       | 1,500,000    | 0           | 1,500,000    |
| 会 館 賃 貸 料 収 入      | 0           | 410,000 | 0          | 0           | 410,000     | 消 耗 品 費 支 出             | 0           | 0       | 600,000      | 0           | 600,000      |
| 福 祉 年 金 事 務 費 収 入  | 0           | 0       | 330,000    | 0           | 330,000     | 修 繕 費 支 出               | 0           | 0       | 3,000,000    | 0           | 3,000,000    |
| 手 数 料 収 入          | 0           | 100,000 | 700,000    | 0           | 800,000     | 印 刷 製 本 費 支 出           | 0           | 0       | 1,500,000    | 0           | 1,500,000    |
| 補 助 金 等 収 入        | 37,507,000  | 0       | 4,338,000  | 0           | 41,845,000  | 光 熱 水 料 費 支 出           | 0           | 0       | 1,750,000    | 0           | 1,750,000    |
| 日本看護協会助成金収入        | 4,338,000   | 0       | 4,338,000  | 0           | 8,676,000   | 賃 借 料 支 出               | 0           | 0       | 4,156,000    | 0           | 4,156,000    |
| 日本看護協会業務委託収入       | 649,000     | 0       | 0          | 0           | 649,000     | 会 館 委 託 料 支 出           | 0           | 0       | 2,355,000    | 0           | 2,355,000    |
| 団 体 助 成 金 収 入      | 100,000     | 0       | 0          | 0           | 100,000     | 保 険 料 支 出               | 0           | 0       | 400,000      | 0           | 400,000      |
| 和歌山県ナースセンター委託金収入   | 8,510,000   | 0       | 0          | 0           | 8,510,000   | 諸 謝 金 支 出               | 0           | 0       | 2,000,000    | 0           | 2,000,000    |
| 潜在看護職員復職等支援委託事業費収入 | 10,000,000  | 0       | 0          | 0           | 10,000,000  | 租 税 公 課 支 出             | 0           | 0       | 3,500,000    | 0           | 3,500,000    |
| 新人看護職員研修委託事業費収入    | 2,194,000   | 0       | 0          | 0           | 2,194,000   | 情 報 処 理 費 支 出           | 0           | 0       | 2,000,000    | 1           | 2,000,000    |
| 介護職員たんの吸引等研修委託費収入  | 1,150,000   | 0       | 0          | 0           | 1,150,000   | 雑 支 出                   | 0           | 0       | 800,000      | 0           | 800,000      |
| 自殺対策事業補助金収入        | 1,000,000   | 0       | 0          | 0           | 1,000,000   | <b>事業活動支出計</b>          | 95,015,000  | 0       | 46,918,000   | 0           | 141,933,000  |
| 保健指導ミーティング事業委託費収入  | 350,000     | 0       | 0          | 0           | 350,000     | 事業活動収支差額                | 1,356,000   | 510,000 | 4,970,000    | 0           | 6,836,000    |
| 看護職員養成練習会委託費収入     | 7,216,000   | 0       | 0          | 0           | 7,216,000   | <b>II 投資活動収支の部</b>      |             |         |              |             | 6,836,000    |
| 地域医療再生事業補助金収入      | 2,000,000   | 0       | 0          | 0           | 2,000,000   | 1. 投資活動収入               |             |         |              |             |              |
| 寄 付 金 収 入          | 0           | 0       | 800,000    | 0           | 800,000     | 特 定 資 産 取 崩 収 入         | 0           | 0       | 1,857,000    | 0           | 1,857,000    |
| 寄 付 金 収 入          | 0           | 0       | 800,000    | 0           | 800,000     | 退 職 給 付 引 当 資 産 取 崩 収 入 | 0           | 0       | 857,000      | 0           | 857,000      |
| 雑 収 入              | 0           | 0       | 140,000    | 0           | 140,000     | 施設整備積立引当資産取崩収入          | 0           | 0       | 1,000,000    | 0           | 1,000,000    |
| 受 取 利 息 収 入        | 0           | 0       | 10,000     | 0           | 10,000      | <b>投資活動収入計</b>          | 0           | 0       | 1,857,000    | 0           | 1,857,000    |
| そ の 他 の 雑 収 入      | 0           | 0       | 130,000    | 0           | 130,000     | 2. 投資活動支出               |             |         |              |             |              |
| <b>事業活動収入計</b>     | 96,371,000  | 510,000 | 51,888,000 | 0           | 148,769,000 | 特 定 資 産 取 得 支 出         | 0           | 0       | 36,191,000   | 0           | 36,191,000   |
| 2. 事業活動支出          |             |         |            |             |             | 退 職 給 付 引 当 金 取 得 支 出   | 0           | 0       | 857,000      | 0           | 857,000      |
| 事 業 費 支 出          | 95,015,000  | 0       | 0          | 0           | 95,015,000  | 減価償却引当資産取得支出            | 0           | 0       | 3,634,000    | 0           | 3,634,000    |
| 役 員 報 酬 支 出        | 5,500,000   | 0       | 0          | 0           | 5,500,000   | 施設整備積立引当資産取得支出          | 0           | 0       | 15,500,000   | 0           | 15,500,000   |
| 給 料 手 当 支 出        | 7,700,000   | 0       | 0          | 0           | 7,700,000   | 建設資金準備積立引当資産取得支出        | 0           | 0       | 16,200,000   | 0           | 16,200,000   |
| 臨 時 雇 賃 金 支 出      | 5,054,000   | 0       | 0          | 0           | 5,054,000   | 固 定 資 産 取 得 支 出         | 0           | 0       | 1,000,000    | 0           | 1,000,000    |
| 法 定 福 利 費 支 出      | 2,500,000   | 0       | 0          | 0           | 2,500,000   | 什 器 備 品 取 得 支 出         | 0           | 0       | 1,000,000    | 0           | 1,000,000    |
| 福 利 厚 生 費 支 出      | 511,000     | 0       | 0          | 0           | 511,000     | <b>投資活動支出計</b>          | 0           | 0       | 37,191,000   | 0           | 37,191,000   |
| 広 報 啓 発 費          | 1,320,000   | 0       | 0          | 0           | 1,320,000   | 投資活動収支差額                | 0           | 0       | △ 35,334,000 | 0           | △ 35,334,000 |
| 旅 費 交 通 費 支 出      | 15,688,000  | 0       | 0          | 0           | 15,688,000  | <b>III 財務活動収支の部</b>     |             |         |              |             |              |
| 通 信 運 搬 費 支 出      | 4,253,000   | 0       | 0          | 0           | 4,283,000   | 1. 財務活動収入               |             |         |              |             |              |
| 消 耗 品 費 支 出        | 8,041,000   | 0       | 0          | 0           | 8,041,000   | <b>財務活動収入計</b>          | 0           | 0       | 0            | 0           | 0            |
| 印 刷 製 本 費 支 出      | 10,338,000  | 0       | 0          | 0           | 10,338,000  | 2. 財務活動支出               |             |         |              |             |              |
| 図 書 整 備 費 支 出      | 500,000     | 0       | 0          | 0           | 500,000     | <b>財務活動支出計</b>          | 0           | 0       | 0            | 0           | 0            |
| 賃 借 料 支 出          | 1,525,000   | 0       | 0          | 0           | 1,525,000   | 財務活動収支差額                | 0           | 0       | 0            | 0           | 0            |
| 調 査 研 究 費 支 出      | 400,000     | 0       | 0          | 0           | 400,000     | <b>予 備 費</b>            | 0           | 0       | 3,000,000    | 0           | 3,000,000    |
| 諸 謝 金 支 出          | 29,645,000  | 0       | 0          | 0           | 29,645,000  | <b>当期収支差額</b>           | 1,356,000   | 510,000 | △ 99,964,000 | 0           | △ 31,498,000 |
| 支 払 助 成 金 支 出      | 2,000,000   | 0       | 0          | 0           | 2,000,000   | <b>前期繰越収支差額</b>         | 0           | 0       | 55,165,753   | 0           | 55,165,753   |
| 支 払 寄 付 金 支 出      | 10,000      | 0       | 0          | 0           | 10,000      | <b>次期繰越収支差額</b>         | 1,356,000   | 510,000 | 21,801,753   | 0           | 23,667,753   |

# 資金収支予算書内訳表

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

| 科 目                   | 公 益 目 的 事 業         |                                         |                                    |                   |                      |                     |                   |                   | 収益事業会計         | 法人会計              | 合 計                |
|-----------------------|---------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|-------------------|----------------------|---------------------|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|--------------------|
|                       | 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 | 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 | 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業 | 地域ケアサービスの推進に関する事業 | 日本看護協会との協力及び連携に関する事業 | その他本会の目的達成のために必要な事業 | 共 通               | 小 計               | 収 益            | 管理費               |                    |
| <b>I 事業活動収支の部</b>     |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |                   |                   |                |                   |                    |
| 1. 事業活動収入             |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |                   |                   |                |                   |                    |
| 特 定 資 産 運 用 収 入       | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 30,000            | 30,000             |
| 特 定 資 産 利 息 収 入       | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 30,000            | 30,000             |
| 会 費 収 入               | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 27,000,000        | 27,000,000        | 0              | 27,000,000        | 54,000,000         |
| 会 費 収 入               | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 27,000,000        | 27,000,000        | 0              | 27,000,000        | 54,000,000         |
| 建 設 資 金 準 備 積 立 金 収 入 | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 16,200,000        | 16,200,000         |
| 建 設 資 金 準 備 積 立 金 収 入 | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 16,200,000        | 16,200,000         |
| 入 会 金 収 入             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 2,350,000         | 2,350,000         | 0              | 2,350,000         | 4,700,000          |
| 入 会 金 収 入             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 2,350,000         | 2,350,000         | 0              | 2,350,000         | 4,700,000          |
| 事 業 収 入               | 24,764,000          | 2,650,000                               | 2,100,000                          | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 29,514,000        | 510,000        | 1,030,000         | 31,054,000         |
| 受 講 料 収 入             | 24,764,000          | 2,650,000                               | 2,100,000                          | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 29,514,000        | 0              | 0                 | 29,514,000         |
| 会 館 賃 貸 料 収 入         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 410,000        | 0                 | 410,000            |
| 福 祉 年 金 事 務 費 収 入     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 330,000           | 330,000            |
| 手 数 料 収 入             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 100,000        | 700,000           | 500,000            |
| 補 助 金 等 収 入           | 15,848,000          | 18,510,000                              | 350,000                            | 2,150,000         | 0                    | 649,000             | 0                 | 37,507,000        | 0              | 4,338,000         | 41,845,000         |
| 日本看護協会助成金収入           | 4,338,000           | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 4,338,000         | 0              | 4,338,000         | 8,676,000          |
| 日本看護協会業務受託収入          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 649,000             | 0                 | 649,000           | 0              | 0                 | 649,000            |
| 団 体 助 成 金 収 入         | 100,000             | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 100,000           | 0              | 0                 | 100,000            |
| 和歌山県ナースセンター委託金収入      | 0                   | 8,510,000                               | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 8,510,000         | 0              | 0                 | 8,510,000          |
| 潜在看護職員復職等支援委託事業費収入    | 0                   | 10,000,000                              | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 10,000,000        | 0              | 0                 | 10,000,000         |
| 新人看護職員研修委託事業費収入       | 2,194,000           | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 2,194,000         | 0              | 0                 | 2,194,000          |
| 介護職員たんに吸引等研修委託費収入     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 1,150,000         | 0                    | 0                   | 0                 | 1,150,000         | 0              | 0                 | 1,150,000          |
| 自殺対策事業補助金収入           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 1,000,000         | 0                    | 0                   | 0                 | 1,000,000         | 0              | 0                 | 1,000,000          |
| 保健指導ミーティング事業委託費収入     | 0                   | 0                                       | 350,000                            | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 350,000           | 0              | 0                 | 350,000            |
| 看護職員養成練習会委託費収入        | 7,216,000           | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 7,216,000         | 0              | 0                 | 7,216,000          |
| 地域医療再生事業補助金収入         | 2,000,000           | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 2,000,000         | 0              | 0                 | 2,000,000          |
| 寄 付 金 収 入             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 800,000           | 800,000            |
| 寄 付 金 収 入             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 800,000           | 800,000            |
| 雑 収 入                 | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 140,000           | 140,000            |
| 受 取 利 息 収 入           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 10,000            | 10,000             |
| そ の 他 の 雑 収 入         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 130,000           | 130,000            |
| <b>事業活動収入計</b>        | <b>40,612,000</b>   | <b>21,160,000</b>                       | <b>2,450,000</b>                   | <b>2,150,000</b>  | <b>0</b>             | <b>649,000</b>      | <b>29,350,000</b> | <b>96,371,000</b> | <b>510,000</b> | <b>51,888,000</b> | <b>148,769,000</b> |
| 2. 事業活動支出             |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |                   |                   |                |                   |                    |
| 事 業 費 支 出             | 55,493,100          | 19,691,100                              | 5,370,300                          | 3,580,200         | 1,790,100            | 3,580,200           | 5,510,000         | 95,015,000        | 0              | 0                 | 95,015,000         |
| 役 員 報 酬 支 出           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 5,500,000         | 5,500,000         | 0              | 0                 | 5,500,000          |
| 給 料 手 当 支 出           | 4,774,000           | 1,694,000                               | 462,000                            | 308,000           | 154,000              | 308,000             | 0                 | 7,700,000         | 0              | 0                 | 7,700,000          |
| 臨 時 雇 賃 金 支 出         | 3,133,480           | 1,111,880                               | 303,240                            | 202,160           | 101,080              | 202,160             | 0                 | 5,054,000         | 0              | 0                 | 5,054,000          |
| 法 定 福 利 費 支 出         | 1,550,000           | 550,000                                 | 150,000                            | 100,000           | 50,000               | 100,000             | 0                 | 2,500,000         | 0              | 0                 | 2,500,000          |
| 福 利 厚 生 費 支 出         | 316,820             | 112,420                                 | 30,660                             | 20,440            | 10,220               | 20,440              | 0                 | 511,000           | 0              | 0                 | 511,000            |
| 広 報 啓 発 費 支 出         | 818,400             | 290,400                                 | 79,200                             | 52,800            | 26,400               | 52,800              | 0                 | 1,320,000         | 0              | 0                 | 1,320,000          |
| 旅 費 交 通 費 支 出         | 9,726,560           | 3,451,360                               | 941,280                            | 627,520           | 313,760              | 627,520             | 0                 | 15,688,000        | 0              | 0                 | 15,688,000         |
| 通 信 運 搬 費 支 出         | 2,655,460           | 942,260                                 | 256,980                            | 171,320           | 85,660               | 171,320             | 0                 | 4,283,000         | 0              | 0                 | 4,283,000          |
| 消 耗 品 費 支 出           | 4,985,420           | 1,769,020                               | 482,460                            | 321,640           | 160,820              | 321,640             | 0                 | 8,041,000         | 0              | 0                 | 8,041,000          |
| 刷 製 本 費 支 出           | 6,409,560           | 2,274,360                               | 620,280                            | 413,520           | 206,760              | 413,520             | 0                 | 10,338,000        | 0              | 0                 | 10,338,000         |
| 図 書 整 備 費 支 出         | 310,000             | 110,000                                 | 30,000                             | 20,000            | 10,000               | 20,000              | 0                 | 500,000           | 0              | 0                 | 500,000            |
| 賃 借 料 支 出             | 945,500             | 335,500                                 | 91,500                             | 61,000            | 30,500               | 61,000              | 0                 | 1,525,000         | 0              | 0                 | 1,525,000          |
| 調 査 研 究 費 支 出         | 248,000             | 88,000                                  | 24,000                             | 16,000            | 8,000                | 16,000              | 0                 | 400,000           | 0              | 0                 | 400,000            |
| 諸 謝 金 支 出             | 18,379,900          | 6,521,900                               | 1,778,700                          | 1,185,800         | 592,900              | 1,185,300           | 0                 | 29,645,000        | 0              | 0                 | 29,645,000         |
| 支 払 助 成 金 支 出         | 1,240,000           | 440,000                                 | 120,000                            | 80,000            | 40,000               | 80,000              | 0                 | 2,000,000         | 0              | 0                 | 2,000,000          |
| 支 払 寄 付 金 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 10,000            | 10,000            | 0              | 0                 | 10,000             |
| 管 理 費 支 出             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 46,918,000        | 46,918,000         |
| 役 員 報 酬 支 出           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 5,500,000         | 5,500,000          |
| 給 料 手 当 支 出           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 12,000,000        | 12,000,000         |
| 臨 時 雇 賃 金 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 100,000           | 100,000            |
| 退 職 給 付 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 857,000           | 857,000            |
| 法 定 福 利 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 2,800,000         | 2,800,000          |
| 福 利 厚 生 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 100,000           | 100,000            |
| 渉 外 費 支 出             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 600,000           | 600,000            |
| 会 議 費 支 出             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 200,000           | 200,000            |
| 旅 費 交 通 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 500,000           | 500,000            |
| 通 信 運 搬 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 700,000           | 700,000            |
| 消 耗 什 器 備 品 費 支 出     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 1,500,000         | 1,500,000          |
| 消 耗 品 費 支 出           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 600,000           | 600,000            |
| 修 繕 費 支 出             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 3,000,000         | 3,000,000          |
| 刷 製 本 費 支 出           | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 1,500,000         | 1,500,000          |
| 光 熱 水 料 費 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 1,750,000         | 1,750,000          |
| 賃 借 料 支 出             | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 4,156,000         | 4,156,000          |
| 会 館 委 託 料 支 出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0                 | 0                 | 0              | 2,355,000         | 2,355,000          |

| 科 目              | 公 益 目 的 事 業         |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            | 収益事業会計  | 法人会計         | 合 計          |
|------------------|---------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|-------------------|----------------------|---------------------|------------|------------|---------|--------------|--------------|
|                  | 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 | 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 | 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善等に関する事業 | 地域ケアサービスの推進に関する事業 | 日本看護協会との協力及び連携に関する事業 | その他本会の目的達成のために必要な事業 | 共 通        | 小 計        | 収 益     | 管理費          |              |
| 保 険 料 支 出        | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 400,000      | 400,000      |
| 諸 謝 金 支 出        | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 2,000,000    | 2,000,000    |
| 租 税 公 課 支 出      | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 3,500,000    | 3,500,000    |
| 情 報 処 理 費 支 出    | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 2,000,000    | 2,000,000    |
| 雑 費 支 出          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 800,000 | 800,000      | 800,000      |
| 事業活動支出計          | 55,493,100          | 19,691,100                              | 5,370,300                          | 3,580,200         | 17,901,000           | 3,580,200           | 5,510,000  | 95,015,000 | 0       | 46,918,000   | 141,933,000  |
| 事業活動収支差額         | △ 14,881,100        | 1,468,900                               | △ 2,920,300                        | △ 1,430,200       | △ 1,790,100          | △ 2,931,200         | 22,840,000 | 1,356,000  | 510,000 | 4,970,000    | 6,836,000    |
| Ⅱ 投資活動収支の部       |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 1. 投資活動収入        |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 特 定 資 産 取 崩 収 入  | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 1,857,000    | 1,857,000    |
| 退職給付引当資産取崩収入     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 857,000      | 857,000      |
| 施設整備積立引当資産取崩収入   | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 1,000,000    | 1,000,000    |
| 投資活動収入計          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 1,857,000    | 1,857,000    |
| 2. 投資活動支出        |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 特 定 資 産 取 得 支 出  | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 36,191,000   | 36,191,000   |
| 退職給付引当資産取得支出     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 857,000      | 857,000      |
| 減価償却引当資産取得支出     | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 3,634,000    | 3,634,000    |
| 施設整備積立引当資産取得支出   | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 15,500,000   | 15,500,000   |
| 建設資金準備積立引当資産取得支出 | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 16,200,000   | 16,200,000   |
| 固定資産取得支出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 1,000,000    | 1,000,000    |
| 什器備品取得支出         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 1,000,000    | 1,000,000    |
| 投資活動支出計          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 37,191,000   | 37,191,000   |
| 投資活動収支差額         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | △ 35,334,000 | △ 35,334,000 |
| Ⅲ 財務活動収支の部       |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 1. 財務活動収入        |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 財務活動収入計          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 0            | 0            |
| 2. 財務活動支出        |                     |                                         |                                    |                   |                      |                     |            |            |         |              |              |
| 財務活動支出計          | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 0            | 0            |
| 財務活動収支差額         | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 0            | 0            |
| 予 備 費            | 0                   | 0                                       | 0                                  | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       | 3,000,000    | 3,000,000    |
| 当期収支差額           | △ 14,881,100        | 1,468,900                               | △ 2,920,300                        | △ 1,430,200       | △ 1,790,100          | △ 2,931,200         | 23,840,000 | 1,356,000  | 510,000 | △ 33,364,000 | △ 31,498,000 |
| 前期繰越収支差額         |                     | 0                                       |                                    | 0                 | 0                    | 0                   | 0          | 0          | 0       |              | 55,165,753   |
| 次期繰越収支差額         | △ 14,881,100        | 1,468,900                               | △ 2,920,300                        | △ 1,430,200       | △ 1,790,100          | △ 2,931,200         | 23,840,000 | 1,356,000  | 510,000 | 21,801,753   | 23,667,753   |

## 職 能 委 員 会 報 告

### 保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 高 垣 通 代

【活動目標】 保健師の連携強化・ネットワークの構築を図り、いきいきと元気に活動する。

#### 【活動内容】

- 職能委員会開催回数：8回開催
- 職能集会：平成24年2月4日開催：参加者数38名
  - ・講演「対応困難と感じた方への対応について」  
講師：和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 子ども診察室 室長 山本 朗氏
  - ・報告「22年度保健師の活動基盤に関する基礎調査」結果について  
保健師職能委員長：高垣 通代
  - ・報告「保健師職能に関するアンケート」結果について  
22年度保健師職能委員：尾崎 裕美
- 三職能合同研修会：平成24年1月28日開催  
参加者数122名（うち保健師17名）
  - ・講演会：テーマ「乳がんの発見と予防」  
～和歌山県における乳がん検診の現状と問題点・その他～  
講師：財団法人 和歌山県民総合健診センター・日本対がん協会和歌山県支部 診療放射線技師 澤田 将利氏
  - ・シンポジウム：テーマ「乳がん看護：不安な気持ちを伝えたい」  
シンポジスト  
看護師の立場から：乳がん認定看護師 田中敦子氏  
保健師の立場から：紀の川市役所 中谷秀美氏  
助産師の立場から：フリー助産師 芝 佳子氏
- 日本看護協会と協働
  - ①平成23年度 厚生労働省 保健指導支援事業「保健指導ミーティング」事業  
目的：保健指導のスキルアップの動機づけを図り、参加者が自らの実践を振り返り保健指導の質の向上を図る。

参加者の交流により、所属機関、世代の枠を超えて保健師間の連携強化、ネットワークの構築を図る。  
いきいきと元気に活動する。

日時：平成23年12月10日  
場所：県民交流プラザ ビッグ愛  
対象：県内のすべての保健師  
結果：参加者数52名

- ②日本看護協会保健師職能委員会が作成した入会案内の活用
- 三職能委員長情報交換会（随時）  
三職能合同研修会や職能間の連携について協議した。特に三職能合同研修会の今後の開催について協議した。
- 地域住民の健康増進  
「まちの保健室」への協力
- 会員増に関する対策
  - ①「和歌山県看護協会保健師に関するアンケート」結果報告を、県下7箇所にて、約140名に実施した。  
同時に日本看護協会および県看護協会活動、看護職賠償責任保険制度、入会案内、保健指導ミーティング事業について、紹介や報告を行った。
  - ②保健師職能だよりの発行：2号、3号、4号
  - ③和歌山県看護協会ホームページへの参加
  - ④職能委員会報告により委員会活動、協会活動を紹介する。（職能委員より管内全市町村に）

#### 【今後の課題】

- ・職能便り等を利用しながら、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。
- ・昨年に引き続き「保健指導ミーティング事業」の実施を予定し、内容の充実を図る。
- ・事業所保健師との交流の促進を図る。

## 助産師職能委員会

委員長 杭ノ瀬 結子

### 【活動目標】

1. 助産の質向上をはかり主体的な助産師活動を支援する。
2. 県看護協会・三職能・助産師会・地域との連携をはかる。

### 【活動内容】

○回数 8回

#### 1. 助産師職能集会

開催日時：平成 23 年 12 月 17 日（土）10 時から 12 時

場所：看護研修センター

参加者：45 名（内訳：助産師 30 名、看護師 2 名、助産師学生 13 名）  
職能委員 7 名

内容：①報告 平成 23 年度 全国職能別交流集会報告  
平成 23 年度 助産師職能委員会活動報告

#### ②講演 テーマ「グリーフケアについて」

講師 大阪市立総合医療センター 大蔵珠己先生  
当日、セーフマザーフット基金の募金をお願いし、  
12,430 円を集金することが出来た。この募金は和歌山  
県看護協会を通して、同基金に贈られた。

#### 2. 三職能合同研修会

開催日時：平成 24 年 1 月 28 日（土）13 時 20 分から 16 時

場所：看護研修センター

参加者：122 名

内容：①基調講演 テーマ「乳がんの発見と予防」  
～和歌山県における乳がん検診の現状と問題点・その他～  
講師 和歌山県民総合健診センター 澤田将利先生

#### ②シンポジウム

テーマ「乳がん看護：不安な気持ちを伝えたい」

シンポジスト

看護師の立場から 乳がん認定看護師 田中敦子氏  
保健師の立場から 紀の川市役所 中谷秀美氏  
助産師の立場から フリー助産師 芝 佳子氏

#### 3. 小委員会活動

##### ①助産外来について：和所、堰本

日本看護協会が推進している助産外来、院内助産が全国的に普及して  
いる現状があり、助産師が妊婦検診に携わる機会が増加している。和歌  
山県内における助産外来の現状を調査する為に、分娩を取り扱っている病

院と診療所 16 施設にアンケート調査表を作成し、1 月 27 日に郵送した。  
今回得られた内容は次年度の委員会で検討し、報告する予定である。

##### ②助産師研修会：中村、橋爪

12 月に胎児心拍モニタリング研修会を開催する予定であったが、助  
産師職能集会が 12 月に変更された為、今年度は実施することが出来  
なかった。

##### ③思春期教育：木村、長谷

前年からの実施している中学校等への思春期教育を実施した。

| 学 校    | 日 時        | 学 年 | 人 数 | 担 当 者      |
|--------|------------|-----|-----|------------|
| 伊都高校   | H 23.11.25 | 全学年 | 520 | 和所、長谷、(寺本) |
| 紀之川中学校 | H 23.12.13 | 中三  | 160 | 木村、長谷、橋爪   |
| 向陽中学校  | H 24.1.18  | 中三  | 80  | 木村、長谷、堰本   |
| 田辺中学校  | H 24.3.7   | 中三  | 80  | 木村、橋爪、中村   |

各学校に思春期教育の出前教室を行うことで、生命の誕生や命の  
大切さ、自分が生まれてきたこと自体に意義があることを説いて聞  
かすことが出来た。最初はざわざわしていた会場もビデオやスライ  
ドが映し出されると学生の目が輝き、真剣に取り組んでいる姿を見  
て取ることができた。また、学生の反応を通してやりがいを感じる  
と共に、その必要性を実感することができた。

##### 4. まちの保健室事業

地域住民の健康増進のため、「まちの保健室」に 5 回参加した。  
妊産婦や乳幼児、子供の訪問が少ない為、掲示ポスターや案内を  
工夫するなど改善を行った。

内容：①助産師ブースを設置し、妊産婦や乳幼児への保健、生活指  
導の実施

②癌検診、子宮頸癌・体癌検診をアピール

③女性のライフサイクルに関する相談

##### 5. 今後の課題

- 1) 助産外来のデータをまとめ、県内の現状を把握する。
- 2) 産科領域における災害マニュアルを検討する。
- 3) 助産師のキャリアパスを作成する。
- 4) 助産師が専門性を発揮していく為、研修の機会を増やし、自信  
を持って業務にあたる事が出来るように働きかける。

## 看護師職能委員会

委員長 東 直子

### 【活動目標】

1. 看護の質向上を目指して、看護専門職としての能力開発を促進する。
2. 三職能が連携して職能間の課題を協議し、看護職の職場定着に向  
けた活動を実践する。
3. 看護協会の活動 PR を行い、看護し職能の組織強化を図る。
4. 公益法人化に向けて、看護し職能委員会の活動を検討する。

### 【活動内容】

○回数 委員会 9 回

#### 1. 専門看護師・認定看護師交流会開催

平成 23 年 11 月 19 日（土）10：00～13：00

和歌山県看護研修センター 参加者 29 名

目的：和歌山県内の専門看護師・認定看護師の交流を図り、看護  
の質の向上に寄与する。

グループワーク「専門看護師・認定看護師の連携と活動について」

#### 2. 准看護師交流会開催

平成 24 年 2 月 4 日（土）13：30～16：00

和歌山県看護研修センター 参加者 67 名

目的：和歌山県内の准看護師の交流を図り、看護の責任と専門性  
を発揮するために准看護師としての資質の向上を目指す。

「日本看護協会・和歌山県看護協会事業」について

和歌山県看護協会 木村佐多子 会長

テーマ：「嚥下訓練を兼ねた口腔ケア方法」

講 師：済生会有田病院 摂食・嚥下障害認定看護師 田中智子先生

#### ＜まとめ＞

アンケート結果は、40 歳から 50 歳代が 85%を占めていた。参加動機  
については、施設の勤めが 80%であった。プログラム・講演内容につ  
いては、良かったが 80%から 90%で、新しい知識を得られた、よく理解で  
き現場で活用したい、病院での准看護師の学習会が無くなり自己で研修・  
勉強する方向になっているため、参加してよかった等の意見が聴かれた。  
今後の交流会への要望を取り入れながら、来年度も取り組む。

#### 3. 看護師職能集会・三職能合同研修会について、以下の通り実施した。

##### 1) 看護師職能集会

平成 24 年 1 月 28 日（土）10：00～12：20

和歌山県看護研修センター 参加者 151 名

(1) テーマ：東日本大震災への災害支援の体験から

～復興へつなぐ看護を考える～

テーマ：東日本災害支援から災害対策の現状と課題

講 師：日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程

救急看護学科 主任教員 石井美恵子 先生

##### (2) 東日本震災への災害支援の体験発表

日本赤十字社和歌山医療センター 楠本康代氏

和歌山ろうさい病院 原田久美氏

白浜はまゆう病院 藤若由紀子氏

##### 2) 三職能合同研修会

平成 24 年 1 月 28 日（土）13：15～16：00

和歌山看護研修センター 参加者 122 名

テーマ：乳がんの発見と予防

～和歌山県における乳がん検診の現状と問題・その他～

講 師：財団法人 和歌山県民総合検診センター 日本対がん協会  
和歌山県支部 診療放射線技師 澤田将人 先生

シンポジウム：看護師の立場から（乳がん認定看護師）田中敦子氏

保健師の立場から（紀の川市役所）中谷秀美氏

助産師の立場から（フリー助産師）芝 佳子氏

#### ＜まとめ＞

アンケート結果は、開催日・場所の変更を行ったが、時間・場所について  
88%から 90%良かった、講演内容について「分かりやすかった」「災害対策  
委員として参考になった」災害直後なので皆の関心事であるが、今後も続け  
て欲しい」などの意見があった。また、「三職能と同日は内容も盛りだくさ  
んとなり時間も長くなるので、別のほうがいい」「パワーポイントだけでなく  
プリントがあったほうが良かった」などの意見もあり、今後の課題である。

#### 4. 「やさしい倫理だより」14・15 号を発行し、その後に看護協会だ

より 1 号を「黒潮」に掲載した。

#### 5. 准看護師の看護師資格取得に関する調査を実施した。（調査結果資料参照）

#### 6. 介護施設における看護職に関する実態調査を実施した。（調査結果資料参照）

### 【今後の課題】

- ・看護職が働き続けられるためには、看護職の労働環境の改善を目指し  
た取組みが必要である。今後、実態調査を行いながら取り組んでいく。
- ・看護の質向上・看護職の役割拡大に向けた推進
- ・医療・介護の連携強化への取組み（看護師職能委員Ⅰ・Ⅱの連携）
- ・今後の高齢化社会に向けて、三職能が如何に協働してどのように  
連携を図っていくか、どのように取り組んでいくかを課題としたい。

# 常任委員会報告

## 社会経済福祉委員会

委員長 西岡 千春

### 【活動目標】

- 看護職確保と職場定着の促進に関して、ナースセンターと連携をとり、WLB推進ワークショップへの取り組みを支援する。
- 看護職の禁煙推進について考える。

### 【活動内容】

○回 数：委員会開催回数 10回

- 今年度は、WLBを重点的に取り組み、第1回開催の「WLB推進ワークショップ」の事業運営についてWLB推進委員会をサポートした。

|    |                                                                                                                                                                                                                      |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月 | WLB参加施設への担当推進委員の決定<br>参加施設は、紀和病院・恵友病院・国保日高総合病院・白浜はまゆう病院の4施設                                                                                                                                                          |
| 6月 | WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ<br>支援者よりインデックス調査状況の報告                                                                                                                                                                |
| 8月 | WLB推進ワークショップ（8月10・11日開催）に向けての準備と確認（WLB推進ワークショップ開催）<br>下記を公開講座とした（研修センター）<br>①WLBの基本的な考え方について<br>②看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について<br>③WLB実現のためのアクションプランについて<br>各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。 |
| 9月 | ワークショップ後の各施設でのアクションプランの進捗状況確認及び見直しをした。                                                                                                                                                                               |

|                   |                                                                                                              |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月<br>11月<br>12月 | ・フォローアップワークショップ（平成24年1月12日開催）プログラムについての打ち合わせ<br>・都道府県看護協会社会経済福祉担当者会議の伝達報告<br>・WLB推進委員および支援者による参加施設への訪問後の経過報告 |
| 1月                | WLBフォローアップワークショップの開催<br>①参加施設での取り組みについて情報共有と意見交換                                                             |

### 2. 看護職の禁煙推進活動

- 和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。  
①第116号へ「知っていますか？ナースの禁煙マラソン～」  
②第117号へ「禁煙アドバイザー育成講習会に参加して」  
③第118号へ「あなたもチャレンジしてみませんか ～禁煙外來での実際～」  
日本赤十字社和歌山医療センター  
呼吸器内科副部長 池上達義先生

### 【今後の課題】

- 看護職の職場定着に向けて、WLB推進ワークショップへの取り組みを継続する。
- 看護職への禁煙推進活動を継続する。

## 教育委員会

委員長 田村 愉香

### 【活動目標】

会員の看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上を図るため、会員教育の企画・運営を行うことができる。

### 【活動内容】

○回 数：研修 25コース 35日 会議 12回

- 平成23年度教育計画の運営  
・会員研修プログラム受講者の看護実践能力に応じた学習段階を設定し実施  
・日本看護協会衛生通信研修会を4コース実施  
・診療報酬上の加算取得の為の研修「フットケアに係る研修会」

### の実施

- ・新人教育技術演習の実施
- 2. 平成24年度教育計画の立案  
・各研修会で得たアンケート結果や会議での評価、各地区支部からの要望をもとに立案

### 【今後の課題】

- ・次年度の教育計画を年内に企画
- ・社会情勢や各種ニーズを捉え、日本看護協会の指針に基づいた看護継続教育を実施
- ・公益法人化に向け、非会員にも魅力となる教育研修の企画

## 広報委員会

委員長 染矢 由紀

### 【活動目標】

- 和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新の情報の提供
- 読者参加型の紙面作り

### 【活動内容】

○回 数：8回

- 和歌山県看護協会会報「黒潮」の発行（第115号～118号）
- 県看護協会の動向を掲載し、各職能委員会からのコーナー・看護協力員のコーナー、看護研修センター建設推進委員会のコーナーを継続した。

- 「My Hospital」「リレーエッセイ友達の輪」「私の○○」「トピックス2011（認定看護師のコーナー）」などのコーナーを継続、会員の皆様へ記事募集を行い、読者参加型の紙面作りに努めた。
- 災害看護や各施設の地域連携室、認定看護師による最新情報を提供した。
- 和歌山県看護協会リーフレット作成のための企画を行った。

### 【今後の課題】

- ・会員の皆様がより参加でき、タイムリーな情報で興味を持っていただけの紙面作り。

## 準備委員会

委員長 森 口 健 司

### 【活動目標】

平成23年度 通常総会が円滑に開催されるように準備・調整する。  
総会終了後の反省を生かし、平成24年度の開催に備える。

### 【活動内容】

○回 数：3回

- 平成23年度和歌山県看護協会通常総会は平成23年6月11日に和歌山県立医科大学講堂において開催され、無事に終了しました。
- 総会終了後、23年度の反省点の検討

### 準備委員の役割分担の決定

事務局、協力委員との連携と役割分担の確認  
会場係、受付係の人員配置の再検討  
受付準備、会場準備の役割の確認  
24年度総会に向けて役割分担の決定

### 【今後の課題】

平成24年度通常総会に向けて協会役員、各委員との連携強化により円滑な総会の運営に努めたい。

## 推薦委員会

委員長 慈 幸 奈 美

### 【活動目標】

活力ある組織体制作りを目指して、開かれた推薦を行う。

### 【活動内容】

回数：7回

○平成24年度改選役員、委員を下記のとおり推薦いたしました。

・会長 木村 佐多子  
・第一副会長 弓場 喜美子  
※古川紀子さんのあと1年引き継ぎ  
・第二副会長 塩路 有 理  
・専務理事 黒田 美也子  
・常任理事 高川 紀 子  
・理事（保健師職能委員長）高垣 通 代  
・地区理事（伊都）小松 仁 美  
・地区理事（那賀）曾 和 とも子  
・地区理事（有田）小原 喜代子  
・地区理事（日高）西岡 倫 代  
・地区理事（田辺）林 弘 子

・准看理事  
・監事  
・監事  
・保健師職能委員

・助産師職能委員

・看護師職能委員Ⅰ

・看護師職能委員Ⅱ

山本 美佐子  
井藤 浜 代  
羽原 伊久雄  
上 裕 佳 恵  
富 田 容 枝  
平 野 健 志  
井 樋 木 志  
山本 記美代  
甲 斐 薫  
福 山 悦 子  
角 敬 子  
中 野 文 代  
本 告 千 晴  
津 田 智 巳  
北 野 景 子  
藤 本 未 央

・推薦委員

・平成25年度代議員推薦

・予備代議員推薦

後藤 智 子  
田 美 紀  
中 邊 美千子  
竜 塚 美登代  
塩 田 有 理  
澤 路 純 子  
山 本 美佐子  
森 久美子  
大久保 雅 世  
西 岡 倫 代  
山下 佳代子  
堀 江 千 晴  
本 告 室 優  
向 理 恵  
山 本 紀美代

### 【今後の課題】

理事会が行う役員の推薦と推薦委員が行う推薦について密接に連携をとりながら進める。

## 業務委員会

委員長 松 本 貴 子

### 【活動目標】

近年の医療の高度化・複雑化に伴い、多種多様な医療スタッフが、お互いに連携・補完しあっている確かな医療を提供する「チーム医療」が推進されている。看護職が専門性の高い看護業務に専念し、質の高い看護ケアを提供するために、看護補助者を医療スタッフの一員として効果的に活用することが重要となる。

今回、平成22年度診療報酬改定「急性期看護補助体制加算」創設後の、本県における看護補助者の業務内容・教育計画・就業体制を調査し、現状を把握する。

### 【活動内容】

○回数：11回

看護補助者の業務内容・教育計画・就業体制を把握するため、一般病床を有する67施設にアンケート調査を行った。

今回の調査より、厚労省の定める急性期看護補助体制加算の施設基

準にある、看護補助者の業務内容、教育に関しては、ほとんどの施設が基準を満たしている。安全な看護の提供には、看護チームの一員として看護補助者に対する教育計画を立案し教育・研修により、一定の能力を身につけたものが看護業務にあたる必要がある。そのためにも看護補助者の教育体制の整備を行うことが必要である。

看護補助者の就業環境について、看護補助者は、すべての施設が看護部に所属しており、院内の委員会に所属しているのは20施設でそのうち11施設では、サービス向上、感染予防、医療安全などの委員会に参加している。

今後チーム医療推進するにあたって、看護補助者に対する教育体制の検討を行う必要がある。

### 【今後の課題】

看護師が専門性の高い看護業務に専念できるように、チーム医療を推進するための指標としてもらう。

## 看護研究学会委員会

委員長 柏 谷 恵 子

### 【活動目標】

H23年度和歌山県看護研究学会の開催が円滑にできる

### 【活動内容】

○回数：11回開催

H23年の5月から計11回の委員会を開催した。

本年度の学会のテーマは「輝く笑顔でよりそう看護」サブテーマは「人とひとを結ぶコミュニケーション」とした。昨年の東日本大震災の経験を生かし、私たち看護師に今できる事はなにかを学会参加者と一緒に考える機会にしたいと思った。そこで、特別講演は黒田 裕子先生にお願いし、「被災者支援とコミュニケーション」というテーマで講演していただいた。また、シンポジウムでは「災害現場で活躍する看護職と今後の課題」とした。実際に東日本大震災の現場で看護活動をされた和

歌山県内4施設の方にシンポジストとして活動報告をしていただいた。災害現場での看護体験報告は参加者の胸に強く残る内容だった。

本年度の学会発表数は口演14題、示説が17題（内セカンドレベル実践報告が5題）であり学会発表会場は二分する形となったが、時間通りの進行が出来た。

学会参加者は約381名であった。

今回の学会は和歌山県立医科大学の施設を借りての開催であり、不安もあったが、学会当日は大きな混乱もなく無事終了することが出来た。

### 【今後の課題】

・次年度の近畿学会の開催を進める  
・今年度の反省を生かした学会運営  
・学会参加者数の確保

## 特別委員会報告

### 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 木 村 眞 子

### 【活動目標】

認定看護管理者教育課程（セカンドレベル・ファーストレベル）の実施や改善のための検討を行い、教育課程の充実と推進を図り円滑な運営を実施する。

### 【活動内容】

○回数：運営委員会4回開催

第1回（4月18日）

・委員長、副委員長の選任  
・認定看護管理者教育制度ファーストレベル教育課程受講者の決定  
・認定看護管理者教育制度セカンドレベル教育課程募集要項の検討

## 第2回（7月15日）

- ・認定看護管理者教育制度セカンドレベル教育課程受講者の決定
- ・セカンドレベル修了者の「看護管理実践計画」報告会の企画（研究学会で示説形式での報告会開催を検討）
- ・会員の認定看護管理者教育に対するニーズ調査の結果報告と今後の受講者拡大に関する検討

## 第3回（12月26日）

- ・認定看護管理者教育制度教育課程実施状況の報告
- ・ファーストレベルの次年度カリキュラムと新カリキュラム移行への対応について

- ・看護研究学会における「看護管理実践計画」報告会の準備状況について確認
- ・セカンドレベルの受講者獲得に関する検討

## 第4回（2月20日）

- ・認定看護管理者教育課程受講者の成績評価、修了認定について
- ・平成24年度認定看護管理者教育課程募集と受講者確保のための活動について

## 【今後の課題】

- ・セカンドレベル修了者の「看護管理実践計画」報告会の充実
- ・セカンドレベル受講者の獲得

# ファーストレベル教育実行委員会

委員長 水田 真由美

## 【活動目標】

平成23年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程に基づき研修を円滑に実施すると共に、研修内容および運営についての評価を行い、次年度に活かす。

## 【活動内容】

○回 数：4回

1. 平成23年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程の実施と評価  
6月1日（開講式）から12月8日（閉講式）まで、6科目150時間（10単位）を15名の講師で実施し、科目履修生1名を含む計48名が受講した。その内、47名が教育課程を修了した。研修終了後の講師毎アンケートは全体的に好評価であり、受講生の自己評価も受講後は受講前より高くなっていた。
2. 研修運営の評価  
各科目の講義運営は目標に沿っており、受講生からも好評価であった。

開講式での抱負の発表は受講生の学習動機を高めるためには有効であった。閉講式での学びと今後の課題の発表は受講生の達成感を得られたようであるが、今後の課題を明確にする点ではやや課題を残した。

また、「看護専門職論」の科目（講師：任和子）をフォローアップ研修として、11名が受講した。

## 3. 次年度の計画立案

平成25年度カリキュラム改正に向けて、スムーズに移行できるように研修内容および講師の検討を行った。

フォローアップ研修は受講者がやや少ないため、さらに対象者を広げ公開講座とする検討を行った。

## 【今後の課題】

平成25年度カリキュラム改正に向けて、研修内容および講師の検討を行う必要がある。また、ファーストレベル修了者や組織のニーズに沿った研修を企画することが継続課題である。

# セカンドレベル教育実行委員会

委員長 角谷 知恵美

## 【活動目標】

第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度の習得し、施設理念ならびに看護部門の理念との整合性を保ちながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力の向上をめざすことをねらいとしたセカンドレベル教育課程を実施し、和歌山県内の看護の質の向上を目指す。

## 【活動内容】

○回 数：7回

1. 平成23年度認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程の実施と評価について  
・認定看護管理者制度セカンドレベル教育の目的を達成するために、4科目20単元の講義と4科目の演習、看護管理実践計画書作成の180時間で実施した。
- 1) 研修開始まで  
・研修開始に向け、プログラムの最終調整、公開講座の決定、科目演習と看護管理実践計画書支援者への依頼、オリエンテーション内容の検討
- 2) 研修開講中  
・研修に集中できるように受講生への支援
- 3) 研修終了後

- ・受講生から提出された教科目レポートと看護管理実践計画書の審査の結果、受講生24人が教育課程を修了した

- 4) 研修の評価は、受講生24人を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。その結果、各科目で「講義の内容の理解」「今後の実践での活用」「モチベーション」とともに昨年より比較的高い傾向が見られた。受講生のまとまりがよく、お互いの声かけが目立った。
2. 和歌山県看護協会看護研究学会での看護管理実践計画書の発表  
・教育実行委員会では3年間の経過報告と、平成21年度受講生1人、平成22年度受講生3人の看護管理実践計画書を示説で発表した。平成21年度受講生の発表は「キャリア開発について」の報告で、現在も継続して実践している報告であった。平成22年度受講生3人は実践途中までの結果報告となったが、まとめるにあたってのよい機会となったと聞いている

## 【今後の課題】

- ・県内施設看護代表者とファーストレベル修了者に対して看護管理者認定制度セカンドレベル教育課程を周知し、施設における看護管理の質向上を図る
- ・認定看護管理者カリキュラム基準（セカンドレベル）の変更に伴い、平成25年度の開催に向けてのカリキュラムを修正する
- ・看護管理実践計画書の報告会を継続し、セカンドレベル修了者の共有の場を図る

# 在宅看護推進委員会

委員長 宮川 啓子

## 【活動目標】

1. 訪問看護推進協議会開催の準備
2. 訪問看護師や訪問看護師ステーション機能の周知
3. 在宅看護に関する看護師の質向上と看護連携の強化
  - 1) 訪問看護師の質向上
  - 2) 病院看護師の在宅看護に関する知識向上

## 【活動内容】（研修等 具体的に）

○回 数：8回

1. 第4回訪問看護推進協議会開催の準備  
平成24年3月1日の開催に際し、協議内容の検討、プログラム編成について企画運営を行った。昨年と同様に訪問看護との連携が重要である病院、居宅介護支援事業所、薬剤師等の代表者に参加を依頼するとともに、県長寿社会の担当者にも参加を依頼した。今年度は、平成24年度介護保険制度改定について、介護職の吸引について協議し、次年度の訪問看護推進事業案について報告した。
2. 訪問看護師や訪問看護師ステーション機能の周知  
地域住民への広報活動として「まちの保健室」に参加すること

を検討していたが、活動するにいたらなかった。昨年度県内の訪問看護ステーションの特色や機能の調査を行い、一覧表を作成したが、その一覧表は、訪問看護ステーション連絡協議会と連携し、ホームページのステーション検索などに利用していた。

## 3. 在宅看護に関する看護師の質向上と看護連携の強化

10月20日（木）10時～16時に退院支援の研修を行った。参加者の年齢は30～40歳代の参加が70%、職位は、看護部長～師長の管理職が30%、スタッフが70%、199～20床の病院からの参加者が42%と多数を占めた。講義とグループワークを行い、退院支援に関して知識が深まったのではないかと感じた。アンケート結果では、深めたい内容として、「ターミナル期の患者に対する退院支援」「独居患者の退院支援」「退院支援課程における具体的な内容（退院前カンファレンス、病棟カンファレンス、アセスメントなど）と記載されており、次年度の看護師教育の中にその内容が盛り込まれた研修の企画・提案をしていきたい。

## 【今後の課題】

- 訪問看護師や訪問看護師ステーション機能の周知
- 在宅看護（退院支援～訪問看護）に関する教育の企画

## 看護研修センター建設推進委員会

委員長 中 林 正 良

### 【活動目標】

看護協会の果たすべき役割やその機能から、今後の将来展望にたった看護研修センター建設推進のため、用地の取得、研修センターの構造、規模及び資金計画が適正に行えるための具体的検討を行う。

### 【活動内容】

○委員会開催回数：7回

昨年度の定期総会においてトランスコスモス研修施設を購入するとともに施設を改築し新看護研修センターにするため、購入の意思表示を行うことが決定された。このことを受け、今年度は7回の委員会を開催した。

結論として、トランスコスモス施設については白紙撤回となった。その経緯は、公募期間（6月～12月）を過ぎてもトランスコスモス側からは、状況報告もなく進展がなかった。1月末の委員会において、購入の

交渉開始を打診していくことを決定し、協会から連絡をとることになった。2月6日に「購入計画を白紙に戻して欲しい」とトランスコスモス健康保険組合の役員が協会に来所し、申し出を受けた。このことから白紙撤回はやむを得ないと判断し、新看護研修センターは必要という方針は総会で決定しているため、早急に新たな適切な物件を探していくこととなった。その他、新看護研修センターの基本方針(案)、施設概要(案)に続き、今後の建設に対し円滑な運営をするためにワーキング規約(案)、ワーキング編成(案)を策定し、理事会へ報告をした。

なお、委員会の報告は昨年度に続きホームページや黒潮への掲載をした。

### 【今後の課題】

トランスコスモス購入の件は、白紙となり、広く会員の皆様にも情報提供を頂き、適切な物件を早急に探し、提示していくことを決定した。

## 「まちの保健室」運営委員会

委員長 得 津 美 紀

### 【活動目標】

1. 「まちの保健室」の定着化と共に、地域住民の健康に対する認識を高める
2. 生活習慣の改善のきっかけづくりと、その改善に向けてのサポートが出来る
3. 県民の健康レベルのニーズに応じたコンサルテーション機能が発揮できる
4. 他の職能委員と連携した活動ができる

### 【活動内容】

○回 数：11回 「まちの保健室」開催：5回

- ・ 昨年度に引き続き「まちの保健室」の定着化を図ると共に、看護協会活動のPRに努め、幅広い年齢層の方が集まる「メッサオクワガーデンパーク和歌山」で奇数月の第3土曜日に定例開催した。
- ・ 内容も昨年と同様、各計測（身長、体重、血圧、体脂肪、骨密度）と、保健師・栄養士・助産師による結果説明と健康相談を実施した。
- ・ 広報については、地方紙の「ニュース和歌山」「リビング和歌山」の無料掲載と開催場所へのポスター掲示にて活動のPRに努めた。
- ・ 開催時は黄色のスタッフベストだと販売業者の様だと警戒されるようであった為、測定者は白衣を着用し、身分をわかりやすくした。
- ・ 白衣着用後の参加人数は毎回80名を上回り、開始前から並んで待つ姿もみられ、昨年度より多くの参加が得られた。ほとんどは通りがかりの参加であったが、リピーターの参加もあり、中には5回以上の利用者もいた。骨密度測定は好評で、測定後医療機関を受診し、加療（内服・運動）した方が再度測定に來られ、前回より改善されていたので大変喜ばれていた。

- ・ 年齢は10～80代で、幅広く利用された。男女比率は、女性が男性の2倍であった。
- ・ アンケート回収率は、65～85%であり、利用者からは、「健康に対する関心が高まった」「気がかりな事が相談できた」「また参加したい」などの声が聞かれた。
- また、1月の開催時アンケートで、看護協会をご存じですか？の質問で、「はい」と答えた利用者が30%であった。
- ・ 開催時の改善すべき点は運営委員会で協議し、可能な限り対策を行い次回開催時に評価した。
- ・ 利用者増加に伴い、特に指導ブースは毎回混雑したため、協力員の人材確保、待合の工夫が必要であった。

### 【今後の課題】

- ・ 今後も活動を継続し定着させていくことが大切であり、地域住民の健康意識を高めること、生活習慣病の改善のきっかけ作りとその改善に向けてのサポートができるよう努めていく。
- ・ 活動拠点については和歌山市外へも範囲を拡大、活動回数については学園祭など他のイベントに参加し、回数・開催場所を増やし協会活動のPRに努めていく。
- しかし、運営委員だけでは困難なことが予想されるため、今後も保健師職能・助産師職能・セカンドキャリア・ボランティアの協力は重要であると考えている。

## 医療安全対策委員会

委員長 中 山 美代子

### 【活動目標】

1. 医療安全管理者養成研修会の開催
2. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修の開催

### 【活動内容】

1. 委員会開催回数 9回

- 1) 検討内容  
医療安全管理者養成研修会、県内リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会の運営、および研修後の評価について検討をおこなった。
2. 医療安全管理者養成研修会（全7回修了した方に修了証を発行）  
近畿地区リスクマネージャー交流会の申し合わせ（研修時間40時間以上）に準じ、医療現場における安全管理を効果的にを行い、医療の質を保証することができる医療安全管理者を養成するねらいで6時間×7日間の研修会を開催した。受講者は55名であった。研修後のアンケート結果からは、どの研修日も目標はほぼ達成できた、という回答を得た。
3. 県内医療安全管理者養成研修会修了者の支援およびフォローアップ研修

日本看護協会の医療安全の課題である「中小医療機関への支援、地域ネットワーク作り」を目的に開催した。参加者は30名で、紀和病院の東順子 GRM の活動実践報告、東名厚木病院医療安全室室長戸田由美子先生による「チーム STEPPS」「地域におけるネットワークの現状・神奈川県の実践報告」を受け、和歌山県地区支部別交流会を開催した。神奈川県のよう地域での医療安全管理者のネットワークを作っていきたいという積極的な意見を頂き、院内の医療安全から地域の医療安全への第一歩を踏み出した。

### 【今後の課題】

1. 医療安全管理者養成研修会の参加者が中小病院、訪問看護ステーションが多くなり、研修修了後の支援が必要となった。研修修了者のスキルアップをはかるために県内リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会を増やし、和歌山県地区支部別地域ネットワーク作りを課題としたい。
- また、地区支部研修会で、医療安全をテーマとした研修を開催し、支援していただきたい。

## 災害看護対策委員会

委員長 濱 口 栄 江

### 【活動目標】

1. 災害支援ナースの登録ネットワークシステムの構築
  - ・ 災害支援ナース登録
  - ・ 災害支援ナースマニュアル完成
2. 災害支援ナースの育成
  - ・ 災害看護研修の企画・実施
  - ・ フォローアップ研修の企画（日本看護協会の研修受講者にて）

### 【活動内容】

1. 回 数：委員会開催10回  
(5/20 6/17 7/29 8/22 9/16 10/7 12/2 1/27 2/27)
  - ・ 災害支援ナース登録申請書完成、承認済み
  - ・ 災害支援ナースマニュアル作成中
2. その他
  - ・ 8/5 平成23年度都道府県看護協会災害看護担当者会議（日本看護協会に於いて） 黒田専任理事出席

- ・8/20 東日本大震災における災害支援ナース等の交流会  
～大震災の支援活動に参加して～ の開催  
目的：災害支援活動を通して災害支援ナース等の知識・態度を  
学ぶとともに今後の災害支援活動の在り方を模索する  
活動実践報告4施設 5名 参加者28名(発表者5名含む)
- ・災害看護研修Ⅰ(10/14・10/15) 衛星・災害医療と看護(基礎編)  
修了者数 106名  
修了者数 60名
- ・災害看護研修Ⅱ(11/14・11/15)  
学習課題の達成度：達成できた(31%) ほぼ達成できた(46%)  
理解の程度：達成できた(62%) ほぼ達成できた(34%)  
実践への応用：達成できた(58%) ほぼ達成できた(40%)

- ・11/26「災害医療救護訓練」に参加：5名(御坊保健所)  
現場救護所を担当しトリアージや救急処置に携わったことで大量  
傷病者が発生したときの対応を学ぶことができた。また、地域の各  
機関と顔の見える関係を作ることの重要性を知ることができた。
- ・1/19 近畿地区看護協会災害看護担当者会(兵庫県看護協会に於いて)  
黒田専任理事出席

#### 【今後の課題】

- ・災害支援ナースマニュアルの完成
- ・災害支援ナース登録申請書の配布・登録の開始
- ・フォローアップ研修の開催

## 近畿地区看護研究学会委員会

委員長 服部 園美

#### 【活動目標】

近畿地区看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行うことができる。

#### 【活動内容】

○回 数：7回

##### 1. 審議事項

- 1) 近畿地区看護研究学会テーマの検討
- 2) 基調講演およびシンポジウムの講師選定
- 3) パネルディスカッションのテーマおよびパネリストの検討
- 4) 年間予定表の作成
- 5) 演題募集要項、抄録原稿要項の検討
- 6) 広報活動の検討
- 7) リラクゼーションメニューの検討

#### 2. 活動内容

- 1) 学会のテーマは、「チームで支えよう!退院支援」とした。
- 2) 基調講演のテーマは、「退院支援から問いかけるもの」とし、講師は三輪恭子(淀川キリスト病院地域専門看護師)に決定した。
- 3) パネルディスカッションのテーマは、「つなごう、紡ごう、退院支援の輪—それぞれの立場から、今、考える—」とした。
- 4) 参加募集人数は600人、演題募集数は40題を予定している。

#### 【今後の課題】

近畿地区看護研究学会は、平成22年度より保健・医療・福祉の変化を受けて、看護職の課題あるいは探求すべきテーマに焦点をあてた学会として位置づけられている。研究の成果や情報交換の場として、活発な議論できるように学会の企画・運営の詳細を決定していきたい。

## その他委員会報告

### WLB推進委員会

推進者 葛葉 まさる

#### 【活動目標】

1. 取り組み施設内にワーク・ライフ・バランス実現による「働き続けられる職場作り」の支援体制が構築し、労働条件改善への継続的な取り組みを促進する。
2. 看護職のワーク・ライフ・バランス実現に取り組む医療施設が増加し、労働環境が改善された医療施設が県内に広がる。

#### 【活動内容】

○回 数：推進委員会 2回

参加施設への説明会 1回

参加施設・推進委員会合同会議 4回

1. 「ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援
2. ワークショップの企画・運営
3. ワークショップ開催(公開講座)  
開催日時：平成23年8月10日(水) 11日(木)  
場 所：和歌山県看護研修センター
4. 個別ワークでは、ファシリテーターとなり、参加施設のアクションプラン作成に対する助言・支援
5. 取り組み状況・進捗状況確認のため参加施設を訪問
6. フォローアップワークショップ開催  
開催日時：平成24年1月12日(木) 9:30～16:00  
場 所：和歌山県看護研修センター
7. フォローアップワークショップでは、ファシリテーターとなり、参加施設からの報告・討議に対し助言・支援

#### 【今後の課題】

1. 平成23年度参加施設との連携・協力体制継続
2. 次年度の参加施設への普及活動 3. 県への協力依頼(助成金等)
4. 日本看護協会との連携

#### 平成23年度「ワークショップ」プログラム

##### 《1日目》

|                                      |                                                 |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 講義1<br>WLBの基本的な考え方について               | 大阪府立成人病センター<br>看護部長 戸根 妙子                       |
| 講義2<br>看護職のWLBインデックス調査および調査結果の見方について | 日本看護協会 専門職支援・<br>中央ナースセンター事業部<br>チーフマネジャー 橋本 美穂 |
| 講義3<br>WLB実現のためのアクション・プランについて        | 三菱UFJリサーチ&コンサル<br>ティング株式会社 シニア<br>コンサルタント 塚田 聡  |

|                                                                                                                       |                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個別ワーク(各施設で作業)<br>看護職のWLBインデックス調査(WLB<br>BN)結果の分析から、自施設の問題・<br>課題とその優先度を明確にする。<br>※随時、支援者、推進者、推進委員会<br>メンバー等に相談しながら行う。 | 日本看護協会「地域への<br>WLB普及推進プロジェクト」委員、日本看護協会<br>専門職支援・中央ナース<br>センター事業部職員<br>支援者、和歌山県看護協<br>会WLB推進委員会 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|

##### 《2日目》

| 内 容                                                                                                                   | 講師又は担当者                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個別ワーク(各施設で作業)<br>看護職のWLBインデックス調査(WLB<br>BN)結果の分析から、自施設の問題・<br>課題とその優先度を明確にする。<br>※随時、支援者、推進者、推進委員会<br>メンバー等に相談しながら行う。 | 日本看護協会「地域への<br>WLB普及推進プロジェクト」委員、日本看護協会<br>専門職支援・中央ナース<br>センター事業部職員<br>支援者、和歌山県看護協<br>会WLB推進委員会 |
| 全体討議・総評                                                                                                               | 同上                                                                                             |
| フォローアップワークショップについての説明                                                                                                 | 日本看護協会専門職支援・<br>中央ナースセンター事業部<br>チーフマネジャー 橋本 美穂                                                 |

#### 平成23年度「フォローアップ・ワークショップ」プログラム

|                                                                            |                |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 目 的：ワークショップ後の各施設での取り組みについて情報共有と<br>ともに意見交換を行い、次年度以降の各施設での取り組み<br>課題を明確にする。 |                |
| 日 時：平成24年1月12日(木) 9:30～16:00                                               |                |
| 場 所：和歌山県看護協会 看護研修センター                                                      |                |
| 参加者：参加施設、支援者、推進者、推進委員会メンバー、「地域へのWLB普<br>及推進プロジェクト」メンバー、日本看護協会担当役員および事務局    |                |
| 《内容》                                                                       |                |
| 各施設の報告、討議、意見交換                                                             |                |
| 1) ワークショップ後の取り組みについて報告(4施設)<br>(各施設40分：報告30分・質疑応答10分)<br>(報告内容)            |                |
| ①病院の概要                                                                     | ②アクションプランの作成   |
| ③推進体制づくり                                                                   | ④アクションプランの実施状況 |
| ⑤H24年度に向けての取組計画                                                            |                |
| 2) 施設の取り組みについて、推進委員担当者からのコメント(5分)                                          |                |

# 地区支部報告

## 伊都地区支部

支部長 山本 紀美代

### 活動目標

- ・地区支部活動を充実する
- ・社会のニーズに応じた質の高い看護を提供する
- ・会員の組織強化を図る
- ・関係機関や関係職種との連携をはかる

| 行 事 名            | 開催日・場所                       | 参加者数             | 対象者            | 行 事 内 容                                           | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                             |
|------------------|------------------------------|------------------|----------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 看護週間行事「一日まちの保健室」 | 平成23年5月14日                   | 249名             | 一 般            | 健康相談、血圧測定、骨密度測定、心肺蘇生法及びAEDの使用について                 | 特に問題はなし                                                        |
| 支部通常総会および研修会     | 平成23年7月2日                    | 49名<br>(委任状347名) | 会 員            | 研修会 テーマ「当院の糖尿病の保健指導」<br>講師 橋本市民病院 岡本 麻里先生         | わかりやすかったので、会場からの質問が多く出て良かった                                    |
| 老人看護月間講演         | 平成23年10月8日                   | 84名              | 会員48名<br>一般36名 | テーマ「認知症を正しく知って正しく予防」<br>講師 県立医科大学紀北分院 大饗義仁先生      | ・わかりやすい内容でよかった<br>・認知症の家族会の方も参加<br>・地域にまで視野を広げ在宅とのつながりが見えて良かった |
| 看護連盟との合同研修会      | 平成24年1月14日                   | 52名              | 会 員            | 講演会<br>テーマ「看護基礎教育と新人看護職員の育成」<br>講師 関西医療大学教授 辻幸代先生 | ・実践にすぐに活かせるか内容でよかった                                            |
| 伊都地区支部看護研修会      | 平成24年3月10日                   | 46名              | 看護職            | 講演会<br>テーマ「災害看護」<br>講師 和歌山赤十字看護専門学校 高岸 壽美先生       | 災害看護について、毎日の業務の中で行うべきポイントや実際がよくわかった。                           |
| 施設代表者会議          | 平成24年3月12日                   | 14名              | 会 員            |                                                   |                                                                |
| 役員会              | 月1回                          | 5名               | 会 員            | 各事業の打ち合わせ                                         |                                                                |
| 今後の課題            | ・関係機関や関係職種との連携をはかる<br>・会員の確保 |                  |                |                                                   |                                                                |

## 那賀地区支部

支部長 並松 睦世

### 活動目標

地区支部活動を充実し、支部会員の看護の質の向上をはかる

| 行 事 名          | 開催日・場所                             | 参加者数 | 対象者                 | 行 事 内 容                                                              | その他（参加者の反響・主催者の感想）         |
|----------------|------------------------------------|------|---------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1日まちの保健室       | 平成23年5月12日                         | 150名 | 一般参加<br>役員、協力員      | 血圧、体脂肪、骨密度測定、その他健康相談、栄養指導、生活指導                                       | 予想外の参加で喜んでいただけました。         |
| 那賀地区支部総会および研修会 | 平成23年6月25日                         | 53名  | 地区支部会員              | 平成23年度 地区支部総会<br>地区支部研修会<br>テーマ「メディカルコーチングとは、その活動について」<br>講師 大関 利幸先生 | コミュニケーションが大切と改めて考えさせられました。 |
| 那賀地区支部老人月間研修   | 平成23年11月5日                         | 72名  | 地区支部会員<br>那賀地区の介護職員 | 老人看護月間研修会<br>テーマ「認知症を知る」<br>講師 田中 禎之先生                               | 認知症患者をより理解し、看護に生かしていきます。   |
| 支部役員会          | 8回                                 | 3名   | 地区支部役員              | 各事業の打ち合わせ、反省会                                                        |                            |
| 施設代表者会議        | 平成24年3月12日                         | 13名  | 各施設代表者              |                                                                      |                            |
| 今後の課題          | 協会の活動を積極的に行い、質の向上をはかると共に会員の増加をはかる。 |      |                     |                                                                      |                            |

## 和歌山地区支部

支部長 埴岡 康恵子

### 活動目標

1. 保健師・助産師・看護師および一般市民の方に看護協会についての認知を広める
2. 看護協会員に対し、情報を発信する

| 行 事 名  | 開催日・場所                                 | 参加者数 | 対象者  | 行 事 内 容                                                     | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                   |
|--------|----------------------------------------|------|------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 看護週間行事 | 5月14日（土）                               |      | 一般市民 | 一日街の保健室                                                     | 骨密度測定を計画し広報していたが、測定器具を借用できず利用者の一部から期待はずれだったとの意見があった。 |
| 総 会    | 6月25日（土）<br>13:00～14:30<br>ダイワロイネットホテル | 241名 | 会 員  |                                                             |                                                      |
| 第1回役員会 | 7月27日（水）<br>13:30～17:30<br>和歌山労災病院     | 8名   | 役 員  | 年度目標、活動計画策定                                                 |                                                      |
| 第2回役員会 | 8月24日（水）<br>13:30～17:30<br>和歌山労災病院     | 6名   | 役 員  | 老人看護月間行事準備<br>第2回研修会運営準備                                    |                                                      |
| 第3回役員会 | 9月21日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院     | 5名   | 役 員  | 老人看護月間行事評価<br>第2回研修会案内発送準備                                  |                                                      |
| 第4回役員会 | 10月19日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院    | 6名   | 役 員  | 平成24年度看護協会事業提案・要望事項のまとめ<br>第2回研修会運営詳細確認<br>平成24年度地区支部行事計画策定 |                                                      |

| 行 事 名       | 開催日・場所                                                 | 参加者数 | 対象者  | 行 事 内 容                                                 | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                                    |
|-------------|--------------------------------------------------------|------|------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 5 回 支部役員会 | 11月9日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院                     | 6名   | 役 員  | 後期役員会、行事予定の確認                                           |                                                                                       |
| 第 6 回 支部役員会 | 12月14日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院                    | 6名   | 役 員  | 会計監査<br>平成24年度地区支部総会、研修会の準備                             |                                                                                       |
| 第 7 回 支部役員会 | 1月18日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院                     | 7名   | 役 員  | 会計監査（中間）<br>平成24年度地区支部役員推薦<br>平成24年度地区支部通常総会、研修会の準備     |                                                                                       |
| 第 8 回 支部役員会 | 2月15日（水）<br>13:30～17:00<br>和歌山労災病院                     | 5名   | 役 員  | 平成24年度看護週間準備<br>平成24年度第2回研修会案計画                         |                                                                                       |
| 第 1 回 研 修 会 | 6月25日（土）<br>13:00～14:30<br>ダイワロイネットホテル                 | 241名 | 会 員  | 「組織で取り組む感染対策」<br>講師：<br>和歌山県立医科大学附属病院<br>感染管理認定看護師 柳瀬安芸 | DVDによる手指衛生や針刺し事故対策が参考になった。<br>リンクナースの役割がわかった。個人病院では参考にならないという意見もあった。                  |
| 第 2 回 研 修 会 | 10月22日（土）<br>14:00～15:30<br>和歌山労災病院                    | 55名  | 会 員  | 「呼吸管理について」<br>講師：<br>日本赤十字社和歌山医療センター<br>集中ケア認定看護師 吹田奈津子 | 呼吸管理の基本、注意点がわかった。呼吸に関して興味を持つことができ、フィジカルアセスメントの研修の機会を提供できた。<br>非会員の参加もあり看護職のニーズに沿っていた。 |
| 老人看護月間行事    | 9月17日（土）<br>10:00～13:00<br>わかちか広場                      | 63名  | 一般市民 | 身体計測、健康相談                                               | 参加者が少ない（前年比74名）PR不足                                                                   |
| 看護週間行事      | 平成24年5月12日（土）                                          | 80名  | 一般市民 | 一日まちの保健室                                                |                                                                                       |
| 今後の課題       | ・会員、一般市民が看護協会を認知しやすいよう行事をアピールする<br>・会員のニーズにあった研修会を企画する |      |      |                                                         |                                                                                       |

## 海南・海草地区支部

支部長 上 田 陽 子

### 活動目標

1. 看護の質の向上に努める
2. 地域住民の生活習慣の予防・介護予防を推進する

| 行 事 名                 | 開催日・場所                                                    | 参加者数        | 対象者            | 行 事 内 容                                                     | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                             |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------|-------------|----------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日まちの保健室             | 平成23年5月14日（土）<br>13:30～16:00                              | 111名<br>16名 | 地域住民<br>役員・協力員 | 健康相談（生活習慣病）<br>身長・体重・血圧・体脂肪・骨密度測定                           | 参加者は「測定値を見て自分の行っている健康管理が正しいかどうかの判断が出来る」等と、好評でした。                               |
| 支 部 役 員 会             | 平成23年5月25日（水）                                             | 8名          | 役 員            | 1日まちの保健室の反省<br>平成23年度総会・第1回研修会について                          |                                                                                |
| 第 1 回 研 修 会           | 平成23年6月25日（土）                                             | 141名<br>10名 | 会員・非会員<br>役 員  | 「最新のスキんケア」<br>講師：労災病院<br>皮膚・排泄ケア認定看護師 山田 桂子先生               | わかりやすい内容で、自分達の行っているスキんケアについて、振り返る機会になりました。                                     |
| 総 会                   |                                                           | 126名<br>10名 | 会 員<br>役 員     | 1. 平成22年度事業報告・会計報告<br>2. 平成23年度事業計画及び予算案<br>3. 平成23年度通常総会報告 |                                                                                |
| 支 部 役 員 会             | 平成23年7月29日（金）                                             | 9名          | 役 員            | 老人看護月間行事について<br>総会・第1回研修会の反省                                |                                                                                |
| 支 部 役 員 会             | 平成23年9月30日（金）                                             | 8名          | 役 員            | 老人看護月間行事について<br>第2回研修会について                                  |                                                                                |
| 老人看護月間行事<br>（海南健康まつり） | 平成23年10月23日（日）<br>10:00～15:00                             | 287名<br>9名  | 地域住民<br>役 員    | 脳の老化度チェック<br>豆つかみ・かなひろいテスト                                  | 年齢に関係なくたくさんの方の参加があり、ゲーム感覚で楽しく行え、大好評でした。                                        |
| 支 部 役 員 会             | 平成23年11月11日（金）                                            | 7名          | 役 員            | 海南健康まつりの反省<br>第2回研修会について                                    |                                                                                |
| 支 部 役 員 会             | 平成24年1月13日（金）                                             | 8名          | 役 員            | 第2回研修会の役割分担<br>平成24年度「1日まちの保健室」について                         |                                                                                |
| 第 2 回 研 修 会           | 平成24年2月4日（土）                                              | 128名<br>10名 | 会員・非会員<br>役 員  | 「高齢者の権利擁護」<br>関西国際大学教育学部教育福祉学科<br>山本 秀樹先生                   | ・虐待を起こす環境や原因についての講義と実際の事例の紹介があり、現場ですぐ活かせると大変好評でした。<br>・看護職員のみならず介護職員の参加もありました。 |
| 支 部 役 員 会             | 平成24年3月12日（月）                                             | 7名          | 役 員            | 理事会報告<br>第2回研修会の反省<br>平成24年度第1回研修会について<br>1日まちの保健室について      |                                                                                |
| 施設会員代表者<br>議 会        |                                                           | 19名         | 施設代表者<br>役 員   | 平成23年度日本看護協会理事会報告<br>基本方針・政策 その他<br>平成23年度和歌山県看護協会事業経過報告    |                                                                                |
| 今後の課題                 | 魅力的な研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ、地域の看護の質の向上を目指すとともに、会員数の増加をはかる。 |             |                |                                                             |                                                                                |

## 有田地区支部

支部長 後 藤 智 子

### 活動目標

- ・看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
- ・広報活動等により新会員の増加に努める。

| 行 事 名       | 開催日・場所                                 | 参加者数       | 対象者                   | 行 事 内 容                                                                           | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                           |
|-------------|----------------------------------------|------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日まちの保健室   | 平成23年5月15日（土）<br>9:30～12:30<br>オークワ真島店 | 78名<br>14名 | 一般住民<br>役員及び<br>協 力 員 | 健康チェック<br>・血圧測定・体重測定・腹囲測定<br>・体脂肪測定・骨密度測定<br>保健指導、健康相談、介護相談<br>子供の記念写真撮影（看護師の衣装で） | 内容に、新たに骨密度測定を加えたところ好評で、測定結果に基づき介護予防の指導を行うことができた。また、看護師の衣装での子供の記念写真撮影も好評であった。 |
| 第 1 回 役 員 会 | 同 上<br>12:00～12:30                     | 7名         | 役 員                   | 平成23年度地区支部総会について<br>平成23年度第1回研修会について<br>その他                                       |                                                                              |

| 行 事 名                      | 開催日・場所                                                                                  | 参加者数        | 対象者             | 行 事 内 容                                                                                              | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                                                                                       |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成23年度<br>地区支部総会           | 平成23年6月25日(土)<br>14:00～14:30<br>きびドーム2階<br>多目的研修室                                       | 85名         | 会 員             | 平成22年度事業報告及び会計報告<br>平成23年度事業計画(案)及び予算(案)<br>その他                                                      |                                                                                                                                          |
| 第1回研修会                     | 同 上<br>14:30～16:00                                                                      | 87名         | 会 員<br>非 会 員    | 講演「災害時への備えと看護」<br>講師：日本赤十字社和歌山医療センター<br>看護師長 寺前 和美 先生                                                | 日本赤十字社和歌山医療センターの取り組みや、新潟県中越地震時に被災した総合病院内部の状態等具体的に教えていただき、アンケートにも「体験をまじえた講演だったので、とてもわかりやすく参考になることが多かった。」等の意見の記入があり大変好評であった。               |
| 第2回役員会                     | 平成23年9月6日(火)<br>9:30～11:30<br>湯浅保健所                                                     | 10名         | 役 員             | 県看護協会理事会報告及び協議事項<br>第1回研修会の反省<br>老人看護月間行事について<br>第2回研修会について<br>その他                                   |                                                                                                                                          |
| 老人看護月間行事<br>(ゆあさ愛・あいまつりにて) | 平成23年11月6日(日)<br>10:00～13:00<br>有田郡民体育館                                                 | 170名<br>15名 | 一般住民<br>役員及び協力員 | 健康チェック<br>・血圧測定・体重測定・腹囲測定<br>・体脂肪測定・骨密度測定<br>保健指導、健康相談                                               | 本年度は、体育館の玄関横ホールで実施した結果、来所者数が昨年度に比べ55%増の170名と多く、特に骨密度測定が好評であった。                                                                           |
| 第3回役員会                     | 平成23年12月19日(月)<br>18:10～19:10<br>双 苑                                                    | 10名         | 役 員             | 県看護協会理事会報告<br>老人看護月間行事の反省<br>第2回研修会について<br>平成24年度事業について<br>その他                                       |                                                                                                                                          |
| 第2回研修会<br>(看護連盟と合同)        | 平成24年2月4日(土)<br>13:30～15:15<br>きびドーム2階<br>多目的研修室                                        | 71名         | 会 員、<br>非 会 員   | 講演「看護協会と看護連盟の役割」<br>講師：県看護連盟会長 谷 真子 先生<br>講演「看護師ができる感染予防対策」<br>講師：有田市立病院医療安全対策室<br>感染管理認定看護師 森 一美 先生 | 感染予防について、場面に応じての対応、既存の物を工夫する等具体的にわかりやすく教えていただき、アンケートにも「感染予防も日々の基礎的な手技によるものが大変だと再認識した。」「DVD等で考えることができ、一方的な講演でなくてよかった。」等の意見の記入があり大変好評であった。 |
| 第4回役員会                     | 同 上<br>15:20～16:20                                                                      | 10名         | 役 員             | 平成23年度事業報告について<br>平成24年度事業について<br>・1日まちの保健室について<br>・総会及び第1回研修会について<br>その他                            |                                                                                                                                          |
| 今後の課題                      | 現行の会員だけでなく、未加入の看護職員にも協会の活動を理解してもらうよう広報活動をするともに、魅力ある研修を企画して積極的に参加を呼びかけ、新入会員・再入会員の増加に努める。 |             |                 |                                                                                                      |                                                                                                                                          |

## 日 高 地 区 支 部

支部長 酒 本 一二美

### 活 動 目 標

地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う

| 行 事 名              | 開催日・場所                                          | 参加者数 | 対象者            | 行 事 内 容                                                                       | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                         |
|--------------------|-------------------------------------------------|------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 一日まちの保健室           | 平成23年5月14日<br>10:00～14:30<br>オークワロマン<br>シティー御坊店 | 140名 | 地域住民           | 血圧測定・末梢血液循環測定・骨密度・<br>健康相談・保健指導等                                              |                                                            |
| 第1回支部役員会           | 同 上<br>14:30～15:00                              | 8名   | 支部役員           | 開催行事の反省及び総会について                                                               |                                                            |
| 総 会                | 平成23年7月2日<br>13:30～15:30<br>国保日高総合病院            | 66名  | 看護協会員          | 1、平成22年度事業報告及び会計報告<br>2、平成23年度事業計画及び予算案<br>3、新役員紹介                            |                                                            |
| 平成23年度<br>第1回会員研修会 | 同 上                                             | 70名  | 看護協会員<br>非 会 員 | 講演「幸せ講座」<br>一癒しの音楽—<br>講師：白浜町堅田 聖福寺住職<br>関守 研悟先生                              | 心身ともにリフレッシュでき、やすらぎの時間を持つことができました。会員からも「癒された」等の感想があり好評であった。 |
| 第2回支部役員会           | 平成23年7月2日<br>15:30～16:00<br>国保日高総合病院            | 8名   | 支部役員           | 1、総会及び会員研修の反省<br>2、看護月間行事について                                                 |                                                            |
| 第3回支部役員会           | 平成23年10月26日<br>17:15～18:30<br>国保日高総合病院          | 8名   | 支部役員           | 1、老人看護月間行事について<br>2、第2回研修について                                                 |                                                            |
| 老人看護月間行事           | 平成23年11月20日<br>10:00～14:30<br>印南漁港町駐車場          | 150名 | 地域住民           | 印南町主催「印南かえるのフェスティバル」に参加<br>各種身体測定（血圧・血流・骨密度）健康相談、<br>保健指導、を実施                 | 屋外実施のためテント張りが必要であった。支部役員及び他の団体の協力を得て、実施することが出来ました。         |
| 第4回支部役員会           | 同日・同所<br>14:30～15:00                            | 8名   | 支部役員           | 老人看護月間行事の反省及び第2回研修会開催について                                                     |                                                            |
| 平成23年度<br>第2回会員研修会 | 平成24年3月10日<br>13:30～15:00<br>国保日高総合病院           |      | 看護協会員<br>非 会 員 | 講演会<br>テーマ「認知症患者の基本的な知識について」<br>—看護職としてのかかわり方と役割—<br>講師：財団法人 浅香山病院<br>三好 豊子先生 |                                                            |
| 第5回支部役員会           | 平成24年3月10日<br>15:00～16:00<br>国保日高総合病院           |      | 支部役員           | 1、研修会の反省<br>2、平成24年度「一日まちの保健室」開催について<br>3、平成24年度事業計画(案)について                   |                                                            |
| 施設代表者会議            | 平成24年3月15日<br>国保日高総合病院                          |      | 施設代表者          | 1、平成23年度事業実施について<br>2、平成24年度和歌山県看護協会事業について<br>3、公益法人移行について<br>4、その他           |                                                            |
| 今後の課題              | 1、日高地区支部会員増加に努める<br>2、地区支部の連携を図り研修会への参加を促す      |      |                |                                                                               |                                                            |

## 田 辺 地 区 支 部

支部長 高 田 雅 美

### 活動目標

1. 支部活動を通じて更に会員相互の連携を深める 2. 地域に根ざした活動を深め看護職への理解を深める

| 行 事 名           | 開催日・場所                                 | 参加者数           | 対象者           | 行 事 内 容                                          | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                                       |
|-----------------|----------------------------------------|----------------|---------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 ま ち の 保 健 室 | 平成23年5月14日<br>9:00～12:00<br>オーシディ田辺店   | 105名           | 地域住民          | 1. 血圧測定<br>2. 体脂肪測定<br>3. 健康相談                   | 気軽に健康相談や測定ができると好評であった。                                                                   |
| 総 会             |                                        | 61名<br>委任状362名 | 会 員           | 1. 平成22年度事業報告及び決算報告<br>2. 平成23年度事業計画案及び予算案       |                                                                                          |
| 看 護 研 究 発 表 会   | 平成23年7月9日<br>13:30～15:30<br>南和歌山医療センター | 79名            | 会 員・<br>非 会 員 | 発表演題 6題<br>講評 南和歌山医療センター<br>急性重症患者看護専門看護師 井上 潤先生 | 各演題ともに多数の質疑応答があり、日頃の業務の振り返りが共有できた。<br>また発表後には、演題ごとの講評と、研究発表に関するミニ講義をお願いし、とてもわかりやすく好評だった。 |
| 老人看護月間行事        | 平成23年11月6日<br>9:30～15:00<br>上富田町保健センター | 145名           | 地域住民          | 1. 血圧測定<br>2. 血行測定<br>3. 健康相談                    | 「かみとんだ健康福祉と文化のまつり」での測定・相談コーナーで、参加者が楽しみながら健康を意識するよい機会になった。                                |
| 施設会員代表者会議       | 平成24年3月16日<br>15:30～17:00<br>紀 南 病 院   |                | 施設代表者         |                                                  |                                                                                          |
| 支 部 役 員 会       | 平成23年5月14日<br>平成23年7月9日                | 役員             |               | 1. 各種行事の反省及び打ち合わせ<br>2. 理事会報告等                   |                                                                                          |
| 今後の課題           | 会員数の増加と会員相互の連携により地域における看護の質の向上を目指す。    |                |               |                                                  |                                                                                          |

## 新 宮 ・ 串 本 地 区 支 部

支部長 小 林 一 太

### 活動目標

- 会員相互の連携を深め、情報交換を図り看護の質の向上に繋げる。

| 行 事 名                        | 開催日・場所                                        | 参加者数              | 対象者           | 行 事 内 容                                                | その他（参加者の反響・主催者の感想）                                                        |
|------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------|---------------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 ま ち の 保 健 室              | 平成23年5月14日                                    | 167名<br>8名        | 一般住民<br>(協力員) | 1. 血圧測定<br>2. 体脂肪測定<br>3. 骨密度測定<br>4. 健康相談             | ・毎年同じ場所で行っているため、毎年参加されている方も多かった。<br>・今回骨密度測定を行って、好評であったが、予算の関係上来年度は困難である。 |
| 第2回 研 修 会<br>(平成22年度分)       | 平成23年5月21日                                    | 24名               | 会 員           | 講演「旅立つ人々から教えられたこと」<br>講師 ホスピス熊野学主宰<br>村上 恵美子先生         | ・普段なかなか聞くことができない、がん患者さんやそのご家族の思い等を聞くことができ、今までの看護を振り返るよい機会となった。            |
| 総 会                          | 平成23年6月25日                                    | 出席者27名<br>委任状205名 | 会 員           | 議事はすべて承認された                                            |                                                                           |
| 第1回 研 修 会                    | 平成23年6月25日                                    | 29名               | 会 員           | 講演<br>「笑顔でやりとり医療信頼関係<br>～医療現場は舞台である」<br>講師 落語家 桂 こけ枝さん | ・終始笑い続けた会員もあり、笑いの効用は十分にありました。<br>・参加者が少なかったのが、残念でした。                      |
| 第2回 研 修 会                    | 平成23年10月29日                                   | 36名               | 会 員・<br>非 会 員 | 講演「医療安全について」<br>講師 国保日高総合病院<br>医療安全管理責任者 上道 雅和先生       | ・分かりやすく講演して頂き、医療安全の基礎的なことを再確認した。                                          |
| 第2回 地 区 支 部<br>施 設 代 表 者 会 議 | 平成24年3月22日<br>県立なぎ看護学校                        |                   | 施設代表者         |                                                        |                                                                           |
| 支 部 役 員 会                    | 平成23年8月24日<br>平成23年10月11日<br>平成23年12月26日      | 4名                | 役 員           | ・各行事の打ち合わせ及び反省<br>・理事会報告等                              |                                                                           |
| 今後の課題                        | ・魅力ある研修会を企画し、積極的な参加を促し、参加者を増やす。 ・施設間の連携を強化する。 |                   |               |                                                        |                                                                           |

## 本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40.1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12 ☎0120-88-2104  
和歌山営業所 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F ☎0120-32-7766  
ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>



平成24年3月、  
東洋羽毛(株)から  
災害時における多目的  
封筒型羽毛「シュラ  
ケット」(寝袋)3個が  
和歌山県看護協会に  
寄贈されました。

## 保健師のコーナー

保健師職能委員 尾崎 則子



今年度より、1年間、保健師職能委員をさせて頂いています。

職能活動を通じて、看護協会と自分との関係について考える良い機会になりました。よく「会費が高いのに受講できる研修等が無く、加入しているメリットが少ない」という意見も聞きます。

しかし、日本看護協会では、保健師活動推進のための活動基盤強化など様々な取り組みがされています。保健師が働きやすい環境づくりについて考え、政策提言をしてくれる唯一の組織なのです。

職能委員会としては見える活動、見える工夫が必要だと思いました。それに関しては、保健師職能で、今年度、

日本看護協会が厚生労働省から委託を受けている保健指導支援事業「保健指導ミーティング」を実施いたしました。和歌山県立医科大学保健看護学部の山田教授のご指導の下、実行委員会を設立し、職能委員として企画から実施、報告まで携わったことは大変勉強になりました。準備を十分に行うことの大切さ、事業を通して人や関係機関と連携できることを再確認しました。そして何より保健師として仕事をしていくうえで活力をもらいました。仕事をしながら活動することは大変な面もありますがそれ以上に得られるものも多くあります。会員の方はより積極的に協会活動に参加され、非会員の方も入会されて、共に保健師職能の活発化を図りましょう。きっと協会に加入する意義を確認出来ると思います。

## 助産師のコーナー

助産師職能委員 長谷 安子



みなさん、こんにちは。

昨年より助産師職能委員として委員会活動に参加させて頂いています。

助産師の役割と言えば、ほとんどの方が妊娠や出産、育児等に関わっていると思われています。しかし、助産師は女性のライフスタイル全般に関わり、サポートを行っていくことを業務としています。(病院勤務ではなかなか厳しい現状があります。)

職能委員会では、昨年より「命の出前教室」として思春期教室を県内の希望された学校を対象に活動を展開し

ています。今年度は中学校3校、高等学校1校に行かせて頂き、命の誕生、命の大切さを講義し感動を与えることができました。特に出産のビデオは興味があり、真剣に見ている学生さんがたくさんいました。思春期は身体面だけでなく、精神面においても大きな変化を遂げる時期です。私自身、思春期の子供が二人いますが、この時期の彼らはホントにいろいろと難しいのです。毎日リアルタイムに身につまされて学ばせていただいております。まだ駆けだしの私は勉強すべきことがたくさん課題としてあるのですが、命の出前教室を通して若い彼らに会える機会を大切に頑張っていこうと思います。むしろパワーをいただける気がします。

## 看護師のコーナー

看護師職能委員 道端 由美



看護師職能委員になり2年の任期が終了します。初めは職能委員の活動内容も分からず不安な気持ちで参加しましたが、委員長から看護協会の動向など聞かせてもらい、今までより身近に感じるようになりました。

職能委員会活動を通じ、他施設の方々から現場での問題や活動内容など現状を知り情報交換ができることで、多くのことを学ばせていただいています。

今年の看護師職能委員会では「東日本災害支援から災害対策の現状と課題」のテーマでした。研修会について

は現在の興味がある内容を取り上げ、多数の方に参加してもらえよう取り組んでいます。

23年度は准看護師交流会を2月4日(土)に開催し、「嚥下障害を兼ねた口腔ケア方法」について講義して頂き、『参加者からは現場活用したい』『今後も研修会に参加したい』と前向きな感想が寄せられました。

委員会の活動内容として研修会の開催以外に看護協会員増加をめざす活動もあります。

このような活動の中で他の職能委員の方と交流を求めていくことで私にとって貴重な経験となりました。今後も協会の抱えている問題などについても考え、残りの期間を精一杯努めたいと思います。

## 人工呼吸器離脱に向けたケア

独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター 井 上 潤



私は、2009年に急性・重症患者看護専門看護師の認定を受けました。現在は、救命救急センターの救急外来、ICU、HCUなどでスタッフとして勤務しながら、専門看護師活動をしています。

ICUに入室するような重症患者さんの中には、人工呼吸器が装着されている方が少なくありません。それによって引き起こされる人工呼吸器関連肺炎（VAP）は、発症すると死亡率は50～77%ともいわれており、VAPを予防し、早期に人工呼吸器から離脱できるよう援助することは、私たち看護の大きな役割のひとつです。最近では、VAPバンドルといわれ、手指衛生の徹底、鎮静評価スケールを使った適切な鎮痛・鎮静、頭位挙上などを行い、感染源の気管内流入を防ぎ、人工呼吸器からのすみやかな離脱をはかる複合的なケアが薦められています。さらに、医師をはじめとした医療チームで毎朝抜管や離脱の可能

性について検討し、自発呼吸テストや時間による鎮静剤の増減を行うこともVAPバンドルの中に盛り込まれています。

また、人工呼吸器からの離脱にあたっては栄養状態や患者さんの心理面など多方面からのアプローチが必要となります。これらは、特別な医療機器や多大なコストを必要とせず、どの施設でも取り組めるケアです。慢性閉塞性肺疾患の患者さんなど離脱が困難な患者さんもおられますが、結局は、ひとつひとつのケアを丁寧に行うことが患者さんの病状の悪化を防ぎ、回復や安寧を促すことにつながるのだと日々感じています。

私は、専門看護師として、このような知識をスタッフに伝え、医師をはじめとした多職種の間をつなぎ、効果的なケアが円滑に行えるよう今後も活動を行っていきたいと思っています。

## 地域連携のコーナー

### 「患者サポートセンター」に生まれ変わります

和歌山ろうさい病院 地域医療連携室 水 谷 由 里



本院は、H16年に地域医療支援病院の指定を受け、勤労者総合医療センターの中に地域医療連携室が設置されました。H20年度には兼任で看護師が2名配置され医療ソーシャルワーカー2名と相談業務や前方支援・退院調整などを行ってきました。

新病院へ移転し3年が過ぎた今年度、急性期病院の中の「患者のオアシス」を目指し、名称を「患者サポートセンター」に改め、エントランスから入って左にあるレストランの隣に部屋を構えることができました。

スタッフは専従の看護師2名（メンバーをリニューアルして）と医療ソーシャルワーカー2名体制をとり、退院調整に関する業務を中央化し患者・家族の意思決定の支援や退院支援を強化していきたいと考えています。

退院支援は外来で入院が決定した時から開始することで、患者家族の意思を尊重しつつ適切な時期に退院に導けるように院内外の連携システムの構築をおこなっていく予定です。

特に、がん患者に対しては相談機能の充実を図るとともに、外来緩和ケアの窓口となり「そのひとらしく」療養生活が送れるために援助していきたいと思っています。

また、大腿骨頸部骨折・脳卒中・がん地域連携パスの事務局としてその推進を図ります。

患者・家族、そして地域の医療機関の皆様から信頼される「患者サポートセンター」となれるように努力していきたいと思っています。

## 医療安全

### 数珠つなぎ

## 和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

医療安全管理室 堀江 佳代子



私が専任の医療安全管理者になって、3年が過ぎました。医療安全管理は、患者を守ること、医療従事者を守することを念頭に取り組んでいます。医療安全に取り組んで感じることは、医療者間のコミュニケーションの重要性です。確実な情報伝達・確認・危険だと話し合えることは、エラー防止につながります。今後も、病院が

ひとつのチームとして医療安全に取り組んでいけるようKYTを積極的に取り入れた教育・啓蒙活動を実践していきたいと思います。

次回号で紹介させていただく方は  
和歌山労災病院 医療安全管理室 遠藤 栄理様です

## 私の



## 《私の始めたこと》

海南市民病院 長谷 量子



1月下旬頃より健康のために出勤を自転車で、帰宅を歩行にしている。自宅から通勤先までは自転車だと15分で着くが、歩きだと30分以上かかる。やり始めた時は、普段まったく運動をしないため、筋肉痛が続いたこともあり、私の性格ではすぐにやめてしまうだろうと思っていたが、3月になった今でも継続できている。歩くと、

この寒さにも関わらず、体がポカポカになり家に着いたときには汗をかいている。普段見慣れた風景でも、歩く事で今まで気づかなかった自然や建物の形などが見え、発見があって面白く感じている。現在、私のちょっとしたリフレッシュであり、身体の健康と共に精神的な健康にもつながっています。

## リレーエッセイ

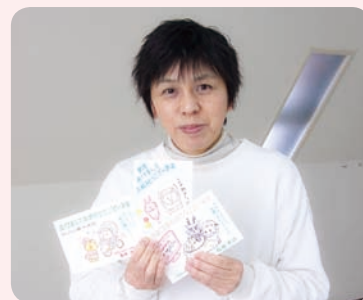
## 友達の

## 輪

Vol.40

訪問看護ステーションエンゼル 鬼塚 幸幼

小さい頃の夢は漫画家になることでした。現実には看護師となり、漫画は観るだけです。そんな私ですが1年に1日だけ年賀状に絵を描いています。来年の干支と、私らしいイラストを新年の挨拶の言葉に乗せて、プリントゴッコをしています。これでも毎年楽しみにしてくださる人も居るんですよ。でも時代の波に押されて、プリントゴッコ事業も本年度で終了するそうです。ランプやインクを買い占めて、これからも描き続けたいと思っています。



今回は、訪問看護ステーションハッピーライフ 南 たえこさんをご紹介します。

## あなたの病院や職場での活動や 取り組みについて黒潮で紹介しませんか？

## 記事募集！

採用された方には、粗品を  
進呈させていただきます。

自薦、他薦は問いません。

- サークル活動や病院コンサート
- リハビリで絵手紙作成など
- 催物など
- 看護の日 各誌所で出し物、劇、歌を歌うなど
- 特殊な委員会活動報告など

例えば



# My Hospital

## 紀和病院

当院は、大台ヶ原を源流とする「吉野川」が「紀の川」と名を変えたところの畔に位置し、南方には世界遺産の高野山を望み、豊かな環境の中で自然の恵みを受け、地域の方々と共に歩んでいます。

基本理念は、「私たちは命の輝き（QOL）を大切に医療・看護を行います」と謳い、開放型病院として、地域に密着した医療の実践を心がけていると共に、二次救急病院としての体制を整えています。

看護部では、基本的看護援助はもちろん、「看護は人と人との関わりである」ことを原点にして出会いや思いやりの心を大切にしながら、患者様に寄り添える看護を目指しています。また、急性期から慢性期、そして訪問看護、病診連携を含む地域医療へと患者様が安心して生活を送れるような切れ目のない医療・看護を提供しています。

近況では、「働きやすい環境づくり」を目指して、昨年からワーク・ライフ・バランス推進事業に参加しました。



副院長・看護部長 岩崎 留美

アンケート調査により職員の感じている職場環境や処遇に関する問題点が抽出されたことは、改善・整備を行う上での指標となりました。職員が満足して働くことができる職場環境の整備、またキャリアアップへの支援を行うことにより、仕事と生活の満足度を高め、離職防止と職員の定着を促し、質の向上へと繋がると考え法人全体で取り組んでいます。このような職場づくりが離職率を減らし、好循環のスパイラルが出来ることを目標に患者様と同じく、職員を思う小さな努力がモチベーションを上げられればと思っております。

教育についても新人看護師の教育方法の改善や、中堅看護師のキャリアアップに向けて認定看護師などの育成制度についても法人として全面的に援助をおこなっており、各人の知識・技術の充実を目指しています。

これからの高齢化社会に向けて、この地域で病院としての役割を確立し、地域の方々の生命と健康を守っていきたいと思っております。



## 平成 23 年度高機能患者シミュレータを使用した研修を実施して

和歌山県看護協会 角谷 徳子

地域医療再生事業補助金事業として、新卒看護師を対象に、「急変時の初期対応ができる（急変の発見から BLS まで）」を研修目標に実施した。

研修日程は平成 24 年 3 月 12 日（月）～ 3 月 16 日（金）までの 5 日間、午前午後各々 3 時間の実施で、合計 10 コマ行った。参加者数は合計 100 名であった。インストラクターは『インストラクター研修』を受講した 南和歌山医療センター 救急・重症患者看護専門看護師の井上潤さん、日本赤十字社和歌山医療センター 救急看護認定看護師の芝田里花さんを中心に多くの救急看護認定看護師の方々にご協力を頂いた。研修方法は、実際にできるだけ近づけたシミュレーションを参加者が体験し、その振り返りを通して学びを深め、学び続ける力を養えるように支援した。

受講生からは「体験がある方が（実際に）生きる。」「経験できてよくわかった。今後活かしていきたい。」「貴重な経験ができた。」「報告に順序があるのが学べた。」「今後、状況にあわせた対応

ができるようになりたい」等の感想を得た。実践に即した演習の効果が伺え、職務に前向きに取り組もうという意欲的な意見が多く、今後の成長・活躍が期待できる結果であった。



## 和歌山県看護研究学会 報告

学会委員長 柏谷 恵子

平成 23 年度看護研究学会は平成 24 年 2 月 25 日に開催、テーマは「輝く笑顔でよりそう看護」サブテーマは「人とひととを結ぶコミュニケーション」とした。昨年の東日本大震災の経験を生かし、私たち看護師に今できる事はなにかを学会参加者と一緒に考える機会にしたいと思った。そこで、特別講演は黒田 裕子先生にお願いし、「被災者支援とコミュニケーション」というテーマで講演していただいた。また、シンポジウムでは「災害現場で活躍する看護職と今後の課題」とした。実際に東日本大震災の現場で看護活動をされた和歌山県内 4 施設の方にシンポジストとして活動報告をしていただいた。災害現場での看護体験報告は参加者の胸に強く残る内容だった。

本年度の学会発表数は口演 14 題、示説が 17 題（内セカンドレベル実践報告が 5 題）であり、学会参加者は約 381 名であった。

今回の学会は和歌山県立医科大学での開催であり、発表会場が二分する形となったが、学会当日は大きな混乱もなく無事終了することが出来た。



# 知って得する看護協会だより

第2号



●発行責任者／看護師職能委員長 東 直子 ●編集／看護師職能委員会

## あなたのために、できること あなたに、できること

5月12日は「看護の日」です。この日を含む日曜日から土曜日までは「看護週間」です。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずにだれもが育むきっかけとなるよう、“看護の心をみんなの心に”をテーマに1990年に制定されました。日本看護協会と都道府県看護協会、各施設でさまざまな行事が催されます。

### 和歌山県看護協会ではこんなことをしています

- ① ふれあい看護体験 …… 高校生を対象に、病院施設での看護体験をしてもらいます。
- ② 1日まちの保健室 …… 駅前や商業施設などで血圧測定、健康相談、お薬相談、介護相談などを行っています。

### 「看護の日」の由来は？

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。1965年から、国際看護師協会（本部：ジュネーブ）は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

協子の  
つぶやき

「看護の日」をきっかけに、たくさんの人に  
看護師の仕事を知ってもらえました

この意味知ってる？  
かっぱつはっち  
“活潑活潑地”

〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会

第10回

プレゼント！

前回の当選確率は120%でした！  
みなさま、どしどし応募してください。

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、6月25日(月)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)  
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛 先 〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「5月号プレゼント」係

「羽毛まくら」

を  
2名様に！どちらか1つ  
当たります！

「図書券」

1,000円分を  
5名様に！

プレゼント  
当選者の  
声

●「感謝の気持ち」を読ませてもらったとき、私ならどう動いたろうかと考えました。同じ県内でも様々な病院での様々な取り組みがあり、それを知ることができて楽しいです。

広報委員  
より

色々な感想をありがとうございます。  
毎回楽しく読ませていただいています。  
今後も参考にしていきたいと思っておりますので、  
ぜひぜひ皆様ふるってご応募ください。

# 和歌山県看護協会の動き

## 平成24年度第1回理事会

### 議決事項

1. 平成23年度事業実施報告(案) …… 承認
2. 平成23年度一般会計決算(案)と監査報告について …… 承認
3. 平成24年度重点事業と事業計画(案)について …… 承認
4. 平成24年度収支予算(案)について …… 承認
5. 定款及び定款細則の変更(案)について …… 承認
6. 24年度改選理事(案)について …… 承認
7. 平成25年度日本看護協会代議員及び予備代議員選出(案)について …… 承認
8. 通常総会に関すること(案) …… 承認
  - 1) 通常総会提案事項(案)について
  - 2) 議長、記録、代議員報告、選挙管理委員選出について
9. 新看護研修センター施設建設への取り組みについて …… 承認

開催日時：平成24年4月25日(水) 13:00～17:10  
会場：看護研修センター2階講堂

10. 和歌山県看護協会諸規程(案)について …… 承認
11. 各委員会委員(案)及び諮問事項(案)について …… 承認
12. 各地区支部活動について …… 承認
13. その他
  - 1) ナースセンター採用職員(パート)について …… 承認

### 報告事項

1. 公益社団法人移行について
2. 関連会議参加報告
3. 事業進捗状況(各担当理事から)
4. 平成24年度県受託事業について
5. 会員数について
6. ハヤヨミ 84.85.86.87.88

## 台風12号災害義援金 ～ お礼とご報告 ～

9月3日の台風12号災害被害支援に際しましては、心温まる義援金を賜り、ご支援いただきました皆様に心からお礼を申し上げます。また、県外から大阪府看護協会並びに兵庫県看護協会からも多額の支援金が寄せられました。寄せられました義援金は県内1,841,132円、県外1,300,000円で併せて総額3,141,132円になりました。お寄せ頂いた義援金は一部を被災された会員に配付するとともに、和歌山県へは、平成24年1月25日、和歌山県庁において仁坂知事に届けさせて頂きました。配分内訳としましては、和歌山県に200万円、被災協会員(床上浸水19名)の皆様へ95万円をお贈りし、残りを災害支援ナースの派遣交通費の一部に使わせて頂きましたことをご報告申し上げます。



## 平成23年度第2回「ワーク・ライフ・バランス」地域推進連絡協議会に参加

平成24年2月17日(金)日本看護協会において第2回「ワーク・ライフ・バランス」地域推進連絡協議会が開催され、平成23年度に取り組んだ12県協会・24年度に取り組む12県協会・公開講座の方々の参加のもと、和歌山県看護協会からは、角谷知恵美(支援者)葛葉まさる(推進者)の2名が参加しました。平成23年度の取り組み状況「・推進体制作り・推進者と支援者の役割分担・ワークショップ実績と成果・今後の課題と活動方針等」についての報告を致しました。



## 看護研修センター建設推進委員会 報告

委員長 中林 正良

黒潮118号(第5回委員会報告)以降についてご報告致します。

年が明けても公募の状況についての情報や進展がないため、1月30日の委員会では購入の交渉開始をするために協会からトランスコスモス側に打診をしてもらうことを決定しました。

その後、2月6日トランスコスモス側から、「購入計画を白紙に戻して欲しい」と申し出がありました。残念ではありますが、了解せざるを得ない状況になりました。

このことを受け、早急に適切な物件を探すことになりました。

会員の皆様にはどうかご理解を頂くとともにご協力をお願い致します。